



社会福祉法人

兵庫県社会福祉事業団

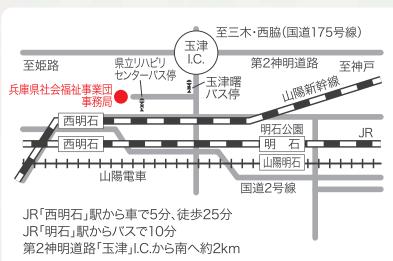
一人ひとりが自分らしく
自立した人生を歩めるように
全力で支援します。



お問い合わせ先

社会福祉法人
兵庫県社会福祉事業団

〒651-2134
神戸市西区曙町1070(総合リハビリテーションセンター内)
TEL:(078)929-5655(代表) FAX:(078)929-5688
URL:<https://www.hwc.or.jp/> E-mail:info@hwc.or.jp



● 兵庫県社会福祉事業団職員倫理綱領 ●

ごあいさつ

「withコロナ」の状況下、地域の医療・福祉の中核拠点として、利用者の方々や地域住民の皆様の「安全と安心」を確保することが重要な課題となっています。

兵庫県社会福祉事業団では、令和3年度事業計画においても、「将来を見据えた今後5年間の中期経営方針～事業団の決意～」（平成30年度末策定）を踏まえ、地域の安全・安心拠点として、地元自治体や住民の方々等とも十分に連携を図りながら、新たなニーズや課題に積極的に対応していきます。また、「新しい生活様式」の定着を図るとともに、利用者の方々の生活の質を確保するなど「withコロナ」に適合した施設運営を行います。

令和2年度に導入した「事業本部制」（総合リハ事業本部、西播磨リハ事業本部、障害者等事業本部、高齢者事業本部）については、事業の効果的な実施等に有効に機能しており、更にその推進・強化を図ります。

また、「働き方改革」を積極的に推進し、事業団職員の方々が働きやすい勤務体系の構築や業務の効率化・負担軽減を図るとともに、多様な介護人材確保対策として、幅広い層への人材確保の取組みを推進します。

さらに、朝陽ヶ丘荘や出石精和園の大規模改修事業等を引き続き推進し、利用者の方々の居住環境等の改善・向上を図ります。

令和3年度も医療・福祉の専門集団として、様々なニーズ等に応えて参りますので、よろしくお願いいたします。

令和3年4月
社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団
理事長 柏 由紀夫

● 兵庫県社会福祉事業団のあらまし ●

性 格	社会福祉施設を効率的、効果的に管理運営するために設立された社会福祉法人です。
目 的	多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援するとともに、兵庫県及び兵庫県内各市町との密接な連携の下、広く県民福祉の向上と増進に寄与することを目的としています。
設 立	昭和39年7月1日
事 業 内 容	県下63か所で89施設を運営しています。（令和3年4月1日 現在）

● 兵庫県社会福祉事業団憲章 ●

兵庫県社会福祉事業団は、自律ある社会福祉法人として、県とのパートナーシップのもと、福祉と医療に関する多様な機能を発揮して、誰もが“地域で支え合い、自分らしく生きる”ことができる社会の実現をめざし、着実かつ果敢にチャレンジするため、この憲章を定めます。

- 1 一人ひとりを尊重し、自らの意思と責任でその人らしい生き方ができるよう支援します
- 1 総合的な地域ケアのしくみを築き、福祉文化の創造をめざします
- 1 ニーズを敏感にとらえ、先駆的な実践により社会に貢献します
- 1 福祉の心と高い専門性を育み、働きがいのある職場をつくります
- 1 公正・効率的な組織運営と安定した経営基盤を確立します

私たちは、利用者一人ひとりが自分らしく自立した人生を歩めるよう、全力で質の高いサービスを提供します。

ここに、その責任と専門的役割を深く自覚し、ともに学び、ともに生きる姿勢で、公正かつ適切な支援と組織運営を行うための基本的な行動規範として「職員倫理綱領」を定めます。

1 人権の擁護	私たちは、利用者一人ひとりをかけがえのない存在として大切にします
1 利用者本位の支援	私たちは、良きパートナーとして、笑顔と思いやりのあるチームケアにより、最善のサービスを提供します
1 自己点検と改善	私たちは、日々のサービスを検証し、不満や苦情を真摯に受け止め、常に業務の改善に生かします
1 地域との協働	私たちは、持てる知識や技術を活かし、地域で支え合う仕組みを、ともに創ります
1 課題への挑戦	私たちは、ニーズを敏感にとらえ、常に挑戦者として、新たな課題の発見と解決に意欲的に取り組みます
1 専門性の向上	私たちは、日々研鑽し、切磋琢磨してサービスの質の向上に努めます
1 活気ある職場づくり	私たちは、厳しさ中にも、活気があり、働きがいのある職場づくりに取り組みます
1 公正な事業活動	私たちは、法令等を順守するとともに、公正・効率的な事業活動を行います

● シンボルマーク ●

ひょうごの「ひ」を図案化したもので大空に羽ばたく鳩の姿と円を基調に描き、事業団の活躍と発展を表しています。



Contents 一目次一

概 要

理事長あいさつ、	
事業団のあらまし、事業団憲章	1
事業団職員倫理綱領、シンボルマーク説明、目次	2
施設 MAP	3
事業団運営施設一覧	5
組織図	7
職員現員表	9
中期経営方針「事業団の決意」	10
令和3年度当初予算	11
令和3年度事業計画	12

総合リハビリテーションセンター

総合リハビリテーションセンター	14
中央病院	15
福祉のまちづくり研究所	17
のぞみの家	19
おおぞらのいえ	20
職業能力開発施設	21
あけぼのの家	22
自立生活訓練センター	23
地域ケア・リハビリテーション支援センター	24
障害者スポーツ交流館	25

西播磨総合リハビリテーションセンター

西播磨総合リハビリテーションセンター	26
西播磨病院	27
研修交流センター	29
ふれあいスポーツ交流館	30

障害児者施設・児童施設

障害福祉・児童福祉サービス等の説明	31
小野起生園	32
小野福祉工場	33
出石精和園	34
ひまわりの森・笑顔の森むらおか	36
五色精光園	37
赤穂精華園	39
丹南精明園	41
三木精愛園	42
清水が丘学園	43
こども発達支援センター	44

高齢者施設

高齢福祉サービス等の説明	45
万寿の家	46
朝陽ヶ丘荘	47
たじま荘	48
ことぶき苑	49
あわじ荘	50
丹寿荘	51
くにうみの里	52
洲本市五色健康福祉総合センター	53
立雲の郷	55

その他施設

浜坂温泉保養荘	56
「ノーリフティングケア」への取組	57

事業団の施設MAP

リハビリテーション病院、障害(児)者支援施設、高齢者施設など
兵庫県下各地で、子どもから高齢者まで総合的に支援しています。

施設種類

総合リハビリテーションセンター

リハビリテーションにおける県域の中核施設をめざし、保健・医療・福祉の総合的サービスを提供する施設です。

西播磨総合リハビリテーションセンター

障害者や高齢者の自立と社会参加の支援のためのリハビリテーションサービスを提供する施設です。西播磨病院、研修交流センター、ふれあいスポーツ交流館の3施設を設置しています。

障害児者施設・児童施設

障害児入所施設、障害者支援施設を主とした、障害児者福祉サービスを行う施設です。施設入所支援、生活介護の他、自立支援のための就労支援などを実行しています。

その他、児童心療治療施設(清水が丘学園)などを運営しています。

障害児者施設・児童施設



C 兵庫県立こども発達支援センター
[明石市魚住町清水]

高齢者施設



B 万寿の家
[神戸市北区鳴子]

障害児者施設・児童施設



C 兵庫県立清水が丘学園
[明石市魚住町清水]

障害児者施設・児童施設



D 小野起生園
[小野市新部町]

障害児者施設・児童施設



F 赤穂精華園
[赤穂市大津]

高齢者施設



G 朝陽ヶ丘荘
[佐用郡佐用町平福]

高齢者施設

特別養護老人ホームを中心とした高齢者福祉サービスを行う施設です。施設での生活介護の他、居宅、通所等の支援を行っています。また、立雲の郷では市民を対象とした運動施設も備えています。

その他施設

誰もが利用可能な保養センター(浜坂温泉保養庄)の運営を行っています。



O 丹寿荘
[丹波市市島町上竹田]



I 出石精和園
[豊岡市出石町]



P 丹南精明園
[丹波篠山市西古佐]



J たじま荘
[豊岡市日高町十戸]



Q 五色精光園
[洲本市五色町]



K ことぶき苑
[豊岡市日高町柿布]



R あわじ荘
[淡路市野島貴船]



L 出石精和園 ひまわりの森 笑顔の森 むらおか
[美方郡香美町]



S 洲本市五色健康福祉総合センター(市立)
[洲本市五色町都志大日]



M 浜坂温泉保養莊
[美方郡新温泉町浜坂]



T くにうみの里
[洲本市下加茂]



N 立雲の郷
[朝来市和田山町竹田]

● 兵庫県社会福祉事業団 運営施設一覧 ●

施設名	開設年月日	所在地	経営形態	頁数	
総合リハビリテーションセンター					
救護施設	のぞみの家	S41. 4. 1	神戸市西区曙町 兵庫県指定管理	自主経営 19	
障害児入所施設	おおぞらのいえ	H20. 4. 1		20	
職業能力開発施設		S52. 7. 1		21	
多機能型事業所	あけばのの家	S43. 4. 1		22	
障害者支援施設	自立生活訓練センター	H 5.11. 1		23	
地域ケア・リハビリテーション支援センター		H23. 4. 1		24	
障害者スポーツ交流館		S50. 5. 1		25	
福祉のまちづくり研究所		H 5.10.20		17	
中央病院		S44.10. 1		15	
西播磨総合リハビリテーションセンター					
研修交流センター	H18. 7. 1	たつの市神宮町光都 兵庫県指定管理	自主経営	29	
ふれあいスポーツ交流館	H17. 4. 1			30	
西播磨病院	H18. 7. 1			27	
児童心理治療施設					
清水が丘学園	S50. 5. 1	明石市魚住町清水	兵庫県指定管理	43	
こども発達支援センター	H24. 4. 1	明石市魚住町清水		44	
特別養護老人ホーム等					
万寿の家	S41.4.1	神戸市北区鳴子	自主経営	46	
朝陽ヶ丘荘	S47.8.1	佐用郡佐用町平福		47	
たじま荘	S49. 5. 1	豊岡市日高町十戸		48	
ことぶき苑（養護老人ホーム）	H21. 4. 1	豊岡市日高町祢布		49	
あわじ荘	S49.10. 1	淡路市野島		50	
シルバーサポートのじま	H26.10. 6			51	
丹寿荘	S51. 5. 1	丹波市市島町上竹田		52	
グループホーム 村いちばんの元氣者	H19. 9. 1			53	
くにうみの里	H28.11. 1	洲本市下加茂		53	
洲本市五色健康福祉総合センター					
五色・サルビアホール（特別養護老人ホーム）		洲本市五色町都志大日	洲本市指定管理	53	
五色グループホーム				53	
五色生活支援ハウス				53	
グループホームひろいしの里	H20. 5. 1	洲本市五色町広石上		53	
立雲の郷					
とらふす道場（健康プラザ）	H20. 5.24	朝来市和田山町竹田	自主経営	55	
グループホームたけだ遊友館	H20. 4. 1	朝来市和田山町竹田		55	
障害者更生センター					
浜坂温泉保養荘	S58.12. 1	美方郡新温泉町浜坂	自主経営	56	

施設名	開設年月日	所在地	経営形態	頁数	
障害児入所施設・障害者支援施設・障害福祉サービス等					
小野起生園	H10. 7. 1	小野市新部町1丁通	自主経営	32	
小野福祉工場				33	
				34	
				36	
				37	
				39	
				41	
				42	
共同生活援助事業					
小野起生園	サンリット小野 サンリット起生	8 H25. 9. 1 8 H25.12. 1	小野市黒川町	自主経営	
	こぶし荘（定員 7 名の内サテライト 1 名含む）	7 H 7. 4. 1	豊岡市出石町町分		
	いすし野	6 H15.10. 1	豊岡市出石町東條		
	クレバース	10 H16.10. 1	豊岡市日高町浅倉		
	あじさい	10 H17.10. 1	豊岡市出石町町分		
	和（なごみ）	7 H18.10. 1	豊岡市出石町宮内		
	ドリームハイツイズシ	6 H22. 2. 1	豊岡市出石町町分		
	レジデンスカスミ A	5 H21. 7. 1	美方郡香美町香住区若松		
	レジデンスカスミ B	5 H21. 7. 1			
	レジデンスカスミ C	5 H24. 4. 1			
出石精光園					
	スイートビー I	6 H17.12. 1	洲本市五色町都志万歳	自主経営	
	スイートビー II	5 H17.12. 1			
	マーガレット I	5 H18. 4. 1			
	マーガレット II	4 H18. 4. 1			
	かがやき	10 H20. 4. 1			
	くにうみの家	20 R 2.12. 1			
	はあと	4 H15. 4. 1			
	いちご	3 H15.10. 1			
	きぼう	3 H16. 4. 1			
赤穂精華園					
	みかん	3 H16. 4. 1	赤穂市新田居村	自主経営	
	ともだち	5 H16.10. 1	赤穂市塙屋		
	とまと	5 H17. 4. 1	赤穂市加里屋		
	ひかり	4 H17. 4. 1	赤穂市塙屋		
	ひびき	4 H17.12. 1			
	ほのか	12 H19. 4. 1			
	あかほ	8 H22.11. 1			
	ハッピー	5 H15.10. 1	丹波篠山市東岡屋		
	そら	5 H17.10. 1	丹波篠山市住吉台		
丹南精明園					
	ゆめ	4 H17.10. 1	丹波篠山市吳服町	自主経営	
	にじ	10 H20. 5. 1	丹波篠山市中野		
	だいち	10 H20. 5. 1	丹波篠山市東吹		
	ホープ	4 H24. 5. 1			
	ひまわりの家	4 H17. 4. 1	三木市緑が丘町中		
	えんどう豆の家	4 H17.10. 1	三木市緑が丘町東		
	ピーナッツの家	4 H18. 6. 1	三木市緑が丘町本町		
	ココナツの家	4 H20.11. 1	三木市緑が丘町東		
	うぐいす豆の家	4 H21.10. 1	三木市緑が丘町西		

● 令和3年度組織図 ●

令和3年4月1日現在



● 職員現員表 ●

(R3.4.1 現在、単位：人)

施設名	職名	支	看	事務	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	医師	栄養士	心理治疗士	体育指導員	臨床検査技師	診療放射線技師	薬剤師	ルワソーカーシャー	医療技術員	研究員	その他	計
	施設名	支	看	事務	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	医師	栄養士	心理治疗士	体育指導員	臨床検査技師	診療放射線技師	薬剤師	ルワソーカーシャー	医療技術員	研究員	その他	計
事務局																		26	
総合リハ事業本部					24													7	
西播磨リハ事業本部					5	1		1										2	
障害者等事業本部					1			1										3	
高齢者事業本部					3													1	
高齢者事業本部					3													4	
総合リハビリテーションセンター		92	181	36	58	39	20	30	7	5	7	10	7	8	6	7	190	703	
福祉管理部		39	2	12					1									30	
総務課・保育室		3		12														25	
救援支援課（のぞみの家）		23								1								37	
療育指導課（おおぞらひいえ）		13	2															22	
能力開発部		21		1														37	
能力開発課（職業能力開発施設）		13		1														22	
職業指導課（あけぼのの家）		8																15	
自立生活訓練部		27	5	2	9	5			2		7							92	
自立生活訓練課（自立生活訓練センター）		21	2	1	3	2			2									54	
地域支援課（地域ケア・リハビリテーション支援センター）		6	3	1	6	3												26	
体育指導課（障害者スポーツ交流館）																		12	
福祉のまちづくり研究所		5		7		1												31	
中央病院		174	14	49	33	20	30	4	5		10	7	8	6				459	
管理部（管理課・経営経理課・医事課）					13													24	
診療部									21									62	
リハビリ療法部						47	33	20		5								110	
看護部					169													206	
検査・放射線部									1		10	7						18	
薬剤部									1			8						9	
栄養管理部									4									6	
地域医療連携部（地域医療連携室・医療福祉相談室）		3	1						1				6					11	
医療安全部		1							1									3	
感染対策部											1							1	
スポーツ医学診療センター		1		2					1									6	
子どものリハビリテーション・睡眠・発達医療センター									3									3	
西播磨総合リハビリテーションセンター		3	57	9	22	21	12	9	2	4	4	3	4	3	2			231	
総務部		2		6						4								43	
総務課																		12	
地域支援・研修交換課（研修交流センター）		2		1														7	
体育指導課（ふれあいスポーツ交流館）										4								24	
西播磨病院		1	57	3	22	21	12	9	2	4		3	4	3	2			188	
業務部（医事調整課）																		7	
診療部		1							8									30	
リハビリ療法部						21	19	12		4								59	
看護部					56													71	
検査・放射線部									1		3	4						8	
薬剤部												3						4	
栄養管理部										2								2	
総合相談・地域連携室		1		1	2							2						7	
小野起生園		14	1	3					1									50	
小野福祉工場		2		1														53	
出石精和園		83	4	5					4									270	
成人寮		46	2	4					1									172	
第2成人寮		16	1	1					1									32	
第3成人寮		10	1						2									21	
ひまわりの森		11																45	
五色精光園		74	2	5					3									212	
成人寮		58	2	4					1									183	
第2成人寮		16		1					2									29	
赤穂精華園		93	5	7					2									226	
児童寮		18	1	1														33	
成人寮		65	3	5					1									166	
やまびこ寮		10	1	1					1									27	
丹南精明園		42	3	5					1									148	
三木精愛園		43	2	5					1									137	
清水が丘学園		25	1	3					1	12								51	
こども発達支援センター		3	1	1		2	2	2		2								18	
万寿の家		39	3	5		2			1									93	
朝陽ヶ丘荘		36	4	3					1									87	
たじま荘		42	4	3					1									106	
ことぶき苑		20	1	2					1									45	
あわじ荘		33	4	4				1	1									90	
丹寿荘		53	6	4					1									122	
くにうみの里		42	4	3		1			1									91	
洲本市五色健康福祉総合センター		56	5	5	1				2									124	
立雲の郷		16	5	2	2							2						40	
浜坂温泉保養荘					4													30	
合 計		811	293	151	84	65	35	43	31	23	13	13	11	11	8	7	1,370	2,969	

(注)2,969人の内訳 常勤職員(正規職員、契約職員等)2,030人 非常勤職員939人

● 将来を見据えた今後5年間の中長期経営方針 ●

～「事業団の決意」～

(取組期間：2019年度～2023年度)

これから私たちがめざす姿

私たちは、①人々の高齢化に対応していくこと、②人々の孤立化に対応していくこと、そして③地域の元気が低下しないように取り組んでいくことが必要と考えます。

そこで、①多くの「パートナー」と地域の元気を支える取組を展開すること、②地域共生社会を先導する新たな拠点づくりに挑戦すること、③地域の幅広い人々の安全・安心につながる多様なサービスを提供すること、④人材の確保・育成を通じた堅実な運営を継続することをめざし、活動を展開します。

私たちが展開する「5つの柱」

1 地域の元気を支える取組の展開

2 新たな挑戦

3 多様なサービスの充実と展開

5 ウィズコロナに適合した施設運営

時代のニーズを見据え、高度な専門性を発揮しながら、新たな課題や分野に積極的に挑戦します

4 堅実な運営の継続

法人経営の永続的展開をめざし、事業活動の点検と強化に努めるなかで、将来に向けた人材の確保・育成と拠点施設の再構築に取り組みます

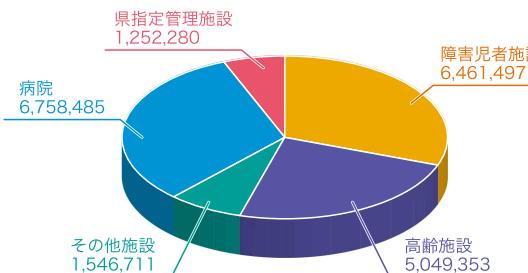


令和3年度当初予算

(単位：千円)

収入		支出	
勘定科目	予算額	勘定科目	予算額
介護保険事業収入	4,521,313	人件費支出	12,340,974
老人福祉事業収入	106,569	事業費支出	4,054,962
児童福祉事業収入	165,999	事務費支出	2,142,729
障害福祉サービス等事業収入	5,841,728	就労支援事業支出	283,773
生活保護事業収入	349,031	利用者負担軽減額	14,600
医療事業収入	6,085,879	支払利息支出	21,705
指定管理料収入	1,210,017	その他の支出	8,094
受託事業等収入	402,484	流动資産評価損等による資金減少額	0
経常経費補助金収入	656,084		
経常経費寄附金収入	2,391		
義肢装具製作等収入	13,578		
自動車訓練収入	2,981		
保育料収入	3,060		
能開収入	521		
特許権実施料収入	16		
保養所収入	128,755		
参加費収入	41,986		
過年度収入	21		
その他の収入	53,637		
借入金利息補助金収入	2,760		
受取利息配当金収入	3,207		
就労支援事業収入	283,770		
事業活動収入計	19,875,787	事業活動支出計	18,866,837
施設整備等補助金収入	152,939	設備資金借入金元金償還支出	66,522
施設資金借入金収入	0	固定資産取得支出	1,229,081
施設整備等収入計	152,939	ファイナンス・リース債務の返済支出	21,435
積立資産取崩収入	713,273	施設整備等支出計	1,317,038
その他の活動収入計	713,273	長期貸付金支出	12,685
前期末支払資金残高	326,327	積立資産支出	596,834
収入計	21,068,326	その他の活動による支出	57,600
		その他の活動支出計	667,119
		予備費支出	50,000
		支出計	20,900,994

令和3年度当初予算内訳



施設種別	予算額(千円)
障害児者施設	6,461,497
高齢施設	5,049,353
その他施設	1,546,711
病院	6,758,485
県指定管理施設	1,252,280
合計	21,068,326

- 障害児者施設
- 高齢施設
- その他施設
- 病院
- 県指定管理施設

令和3年度事業計画

1 地域の元気を支える取組の展開

- (1) 多世代交流ができるコミュニティの形成
 - ア 「寺子屋プロジェクト」等の実施
 - イ 地域の集いの場の提供
 - ウ 入居者や地域の方々が作品展示できるギャラリーの展開
- (2) 介護保険対象外サービスの柔軟な展開
- (3) 地域交流行事(園祭・盆踊り等)の開催
- (4) 魅力ある浜坂温泉保養菴の実施
 - ア 宿泊利用率の向上対策
 - イ インターネット等を活用した広報活動の強化
 - ウ セラピスト等による各種療法指導の実施
 - エ 温泉入浴指導員による効果的な入浴方法等の指導



▲ノーリフティングケア

2 新たな挑戦

- (1) 総合リハビリテーションセンターにおける県域拠点としての役割の充実・強化
 - エ 看取りケアの取組
 - オ 高齢障害者の高齢者施設(特養)での受入
 - カ 利用者の高齢化に応じる職員の介護技術の向上等
 - キ 障害者グループホーム等の再編等
 - （ア）東京パラリンピック・ワールドマスターーズゲームズ開催記念スポーツ交流大会の実施
- (イ) 障害者スポーツの普及・啓発
 - （ア）障害児スポーツ活動拠点づくりの推進
 - （イ）障害者施設等へのスポーツ支援プログラムの実施
 - （ウ）スポーツをする機会の提供
 - （エ）障害者スポーツを支える人材(ボランティア)の育成
- (ウ) ひまご障害者総合トレーニングセンター(仮称)の開設
- (ク) 健康・体力測定会への対応強化
- (ケ) 事故予防の取組
 - （ア）アセムントの充実による事故リスクの減少
 - （イ）KYT(危険予知トレーニング)の推進
- (コ) 個別支援の実践及び研究等の推進
 - （ア）職員研究・実践等発表大会
 - （イ）支援の魅力、夢を叶えるプロジェクト発表大会

イ 査養ケア・口腔ケアの連携強化

ウ 認知症ケアの充実(高齢者施設共通)

エ 看取りケアの取組

オ 高齢障害者の高齢者施設(特養)での受入

カ 利用者の高齢化に応じる職員の介護技術の向上等

キ 障害者グループホーム等の再編等

（ア）東京パラリンピック・ワールドマスターーズゲームズ開催記念スポーツ交流大会の実施

（イ）地域の中高等学校への「福祉学習」の実施

（ウ）大学等との継続的な「福祉授業」、サテライトゼミを開催

（エ）効果的な研修の実施

（オ）将来に向かふ幅広い層の人材確保の取組

（ア）正規職員の確保対策

（イ）非正規職員(勤労ローテーション職員等)の確保対策

（カ）都市部からの移住促進による人材確保

（キ）アティビティニアの人材活用

（イ）幅広い世代へ福祉の発信

（ア）多世代向けの研修の実施

（エ）効果的な研修の実施

（オ）多世代向けの効果的な広報

（イ）魅力のあるバーフレット、ホームページ等の制作

（エ）計画的な正規職員数(正規職員比率)の確保

（オ）老朽化進む施設の大規模改修や建替の計画的実施

（カ）中期経営方針に基づいた効果的・効率的な法人運営の推進

（ア）ガバナンスの充実

（ア）事業本部制の推進・強化

（イ）効率的、効率的な法人運営、経営・管理の推進

（ア）事業目標・経営目標(課題解決と経営管理の取組)

（イ）事業の見直し及び見直しの検討

（カ）新たな加算料の取得による収支改善

（ウ）財務規律及び収益管理の強化

（ア）事務局財務課による指導等

（イ）会計監査人監査の実施

（ウ）リスク管理の取組

（イ）施設建物や整備等の長寿化の推進

（ウ）県との協働による県施策の先導的役割の実践

（3）「ひまわりラボ・プロジェクト」の充実

（4）障害児入所施設(赤穂精華園)の支援機能の強化

（ア）現状の課題解決のための新たな取組

（イ）最先端歩行再建センター及びロボットスツール

HAL西日本センターの設立等

（ウ）「本当に役立つもの」の研究・開発の推進

（エ）兵庫県の委託による研究開発等

（オ）外部資金による研究開発等

（2）西播磨Jリの機能強化

（ア）現状の課題解決のための新たな取組

（イ）最先端歩行再建センター及びロボットスツール

HAL西日本センターの設立等

（ウ）「本当に役立つもの」の研究・開発の推進

（エ）兵庫県の委託による研究開発等

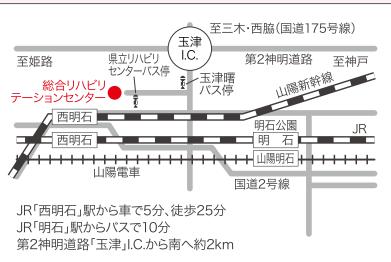
施設紹介

総合リハビリテーションセンター	14~25
西播磨総合リハビリテーションセンター	26~30
障害児者施設・児童施設	31~44
高齢者施設	45~55
その他施設	56



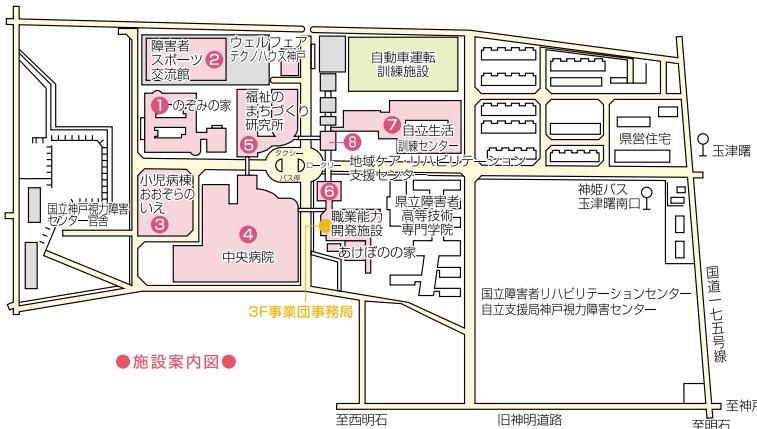
■ 総合リハビリテーションセンター リハビリテーションにおける県域の中核施設

〒 651-2181 神戸市西区曙町 1070
TEL 078-927-2727 代
FAX 078-928-7590
E-mail info_riha@hwc.or.jp
<https://www.hwc.or.jp/rihacenter/>



総合リハビリテーションセンターの運営理念

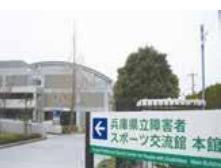
1. リハビリテーションにおける県域の中核施設をめざすこと
2. 高度で専門的なリハビリテーションを中心とした保健・医療・福祉の総合的なサービスを提供し、障害者等の全人間的復権をめざすこと
3. 専門的な研究・研修機能を充実し、情報提供及び人材養成を行うなど先導的役割を果たすこと



●施設案内図●



①のぞみの家



②障害者スポーツ交流館



③小児病棟・おおぞらのいえ



④中央病院



⑤福祉のまちづくり研究所



⑥職業能力開発施設・あけぼのの家



⑦自立生活訓練センター



⑧地域ケア・リハビリテーション支援センター

中央病院 リハビリテーションにおける 兵庫県域の中核病院

〒651-2181 神戸市西区曙町1070
(総合リハビリテーションセンター内)
TEL 078-927-2727(代) FAX 078-925-9203
E-mail info_hp@hwc.or.jp
<https://www.hwc.or.jp/hospital/>

アクセスは14ページをご覧ください



施設案内

病床数 330床

- ・回復期リハビリ病棟 100床
- ・神経難病・高次脳機能障害など 50床
- ・切断・脊髄損傷・泌尿器科疾患など 50床
- ・骨関節疾患・脊椎疾患など 100床
- ・小児整形疾患・小児睡眠・発達障害など 30床

診療科目

内科・循環器内科・脳神経内科・整形外科・
リウマチ科・小児科・神経小児科・小児精神科・
泌尿器科・眼科・リハビリテーション科・放射線科・
麻酔科・歯科

安全で質の高い先導的なリハビリ医療

兵庫県におけるリハビリテーション医療の中核病院として、地域で対応困難な重度の障害者を対象に高度で専門的かつ総合的なリハビリテーション医療を提供しています。

リハビリテーション医療の経験豊かな内科・脳神経内科・整形外科等の専門医、理学・作業療法士及び言語聴覚士等の専門職員が一体となったチームアプローチによる医療が特色です。

さまざまなりハビリに対応した設備

各病棟に電動スリークランクギヤベッドを採用し、脊髄損傷患者に対応した病棟の居室、浴室・トイレにはリフターを設置しています。また、充実したリハビリができるよう、広大なアトリウムからなる理学療法室、日常生活に不可欠な設備が整った作業療法室、リラックスしてコミュニケーションの取りやすい個室のある言語聴覚療法室、屋外での歩行練習や坂道・階段の昇降練習などを行う屋外練習場など、さまざまな設備を整えています。



▲リフター



▲運動療法アリウム



▲屋外リハビリ広場

子どものリハビリテーション・睡眠・発達医療センター

子どもの整形外科の疾患・肢体不自由・睡眠障害・発達障害の診療とリハビリテーションを行っています。先天性手不足・筋性斜頸・発育性股関節脱臼・多合指症などの上肢の先天異常・四肢変形・骨系統疾患などでは、手術的加療も含めた診療を行っています。年齢や状態にあった補装具も提供しています。睡眠障害のために脳機能低下・体内時計の乱れ・体力低下・自律神経失調症になった子どもや、睡眠障害を伴った発達障害の子どもの入院治療にも取り組んでいます。



小児リハビリテーション室▶

地域の関係機関との連携及び患者サービスの向上

地域医療連携室では、患者が安心して医療を受けられるよう、地域の医療機関や関係機関との効率的な連携を図ります。後方支援である医療福祉相談室では、病院利用者やその家族が入院から退院まで、さらにその後の生活上の解決しなければならないさまざまな問題に関して、医療ソーシャルワーカーや退院支援看護師が相談を受け、専門的立場から支援を行います。



地域の関係機関との連携▶

スポーツ医学診療センター

スポーツ医学診療センターは、プロアスリート・パラアスリート・学生アスリート・スポーツ愛好家・障害者スポーツ愛好家など、スポーツを愛する方が、外傷や障害で治療を余儀なくされた際に、「適切な診断」・「高度な治療」・「復帰へ向けた最高のリハビリテーション」を実践できる施設として令和3年4月1日に開設しました。アスリートを取り巻く多くの外傷・障害・疾病に対して包括的な治療を行います。また、最新のトレーニング機器をそろえたスポーツリハビリテーション室を設置し、メディカルリハビリテーションのみならず、患部外のトレーニングやアスレチックリハビリテーションも同時に、アスリートの復帰へ向けた治療に取り組んでいきます。



スポーツリハビリテーション室▶

脳血管疾患及び頭部外傷患者並びに脊髄損傷等の重度障害者へのリハビリテーション医療

脳血管疾患・頭部外傷・脊髄疾患・神経疾患などによって引き起こされる痺れや言語障害を中心とした「機能障害」、日常生活動作における「能力障害」、さらには住まいや環境に関して社会復帰を妨げている「社会的不利」の状況に対応して、段階的にリハビリテーション治療プログラムを作り、種々の専門職からなるチームアプローチ及び病院内外の多くの部門との連携を行い、社会復帰に向けた治療を行います。



人工関節置換術等の手術医療

変形性股関節症や膝関節症などに対する人工関節手術、リウマチの患者に対する関節手術や人工関節手術、靭帯損傷などのスポーツ障害に対する手術、頸椎や腰椎などの脊椎疾患に対する手術を行っています。

また、平成28年11月からは「人工関節センター」を設置し、膝や股関節の疾患に対する人工関節置換術とそれに対応した効果的なリハビリテーションを、患者ニーズに応じて積極的に推進しています。



神経難病等への対応

パーキンソン病や重症候群などの神経難病、ギラン・バレー症候群や慢性炎症性脱髓性多発根神経炎などの末梢神経疾患に対し、神経筋生検などの病理学的検査、脳波・誘発筋電図・脳波などの神経生理学的検査、CTやMRIなどの画像検査を実施し、診断精度の向上と治療・リハビリテーション方法の改善に取り組んでいます。



●職員 Voice ● 理学療法士 / 新免 淩也

中央病院では、様々な障害を負った患者様が在宅・社会復帰をめざし、毎日リハビリに励まれています。私たち理学療法士は、患者様が退院後も安心して生活できるよう、多職種や地域との協働を意識したチーム医療を行っています。また患者様の良きバー

高次脳機能障害のリハビリテーション

頭部外傷の後遺症などによる高次脳機能障害に対し、作業療法士及び言語聴覚士によるリハビリテーション、心理判定員による経過観察評価とリハビリテーション等を行うとともに、総合リハビリセンター内の社会職業リハビリテーションセンターと連携し、在宅復帰に向けた支援を行っています。



泌尿器疾患への対応

脳卒中や脊髄損傷などの神経疾患に伴う排尿障害や性機能障害に対する診療・相談などを行っています。また、女性の尿漏れや排尿障害、膀胱脱などに対する専門外来として、女性排尿ケア外来を行っています。

音楽療法

脳卒中などの後遺症やパーキンソン病などに対して、音楽療法士による楽器演奏や歌唱を通じた注意障害の改善、手指や呼吸機能の維持、歩行時のリズム調整等の訓練を行っています。



患者向け教室

糖尿病に関する「生活習慣病を学ぼう会」、関節リウマチに関する「リウマチ教室」及び「脊髄損傷者の性機能に関する講習会」を主に入院患者を対象として実施しています。



最先端ロボット機器を用いたリハビリ

福祉のまちづくり研究所のロボットリハビリテーションセンターと連携し、ロボットテクノロジーを活用したリハビリの研究・開発・実践を行っています。筋肉の信号でハンドを動かすことができる電動の義手（筋電義手）、コンピュータ制御の高機能な義足、下肢に装着して歩行再建支援を行うロボットなど、人間装着型の最先端ロボット機器を用いたリハビリを行うとともに、新たにリハビリ・生活支援のためのロボット機器の研究・開発に取り組んでいます。



筋電義手の訓練▶

福祉のまちづくり研究所 新たなる技術で 未来を切り拓く

ロボットリハビリテーションセンター

最先端歩行再建センター
ロボットスーツ HAL 西日本教育センター

介護ロボット開発支援・普及推進・研修センター

※「ロボットリハビ」は社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団の登録商標です。

〒 651-2181 神戸市西区曙町 1070
(総合リハビリテーションセンター内)
<https://www.assistech.hwc.or.jp/>

アクセスは14ページをご覧ください



■ロボットリハビリテーションセンター・研究部門
TEL 078-925-9283 FAX 078-925-9284
E-mail info00@assistech.hwc.or.jp

■介護ロボット開発支援・普及推進・研修センター
(開発・導入支援窓口)

TEL 078-927-2755 FAX 078-920-9807
E-mail robo-shien@assistech.hwc.or.jp

〈福祉用具展示ホール〉
TEL 078-927-2727 ㈹ FAX 078-927-2752
E-mail tenji@hwc.or.jp

〈研修センター〉
TEL 078-927-2727 ㈹ FAX 078-925-4657
E-mail kensyu@hwc.or.jp



ロボットリハビリテーションセンター

総合リハビリテーションセンター内にある立地環境を活かし、現場ニーズに基づいた介護リハビリロボットや福祉用具の研究開発を進めています。臨床現場やメーカー、大学等との連携を図りながら、研究のみならず実用的な機器を社会に送り出すための活動に精力的に取り組んでいます。

また、新たに「最先端歩行再建センター」、「ロボットスーツ HAL 西日本教育センター」をセンター内に設置しました。

ロボットテクノロジミッション

ロボット技術を取り入れた最先端高機能機器のリハビリテーション現場への導入方法や臨床で活用できる機器の開発に取り組んでいます。隣接するリハビリテーション中央病院など、医療・福祉の現場の声を反映し、小児訓練用筋電義手などの研究開発を行っています。特許取得、企業との連携を通じて、これまでに手術前シミュレーション用骨盤モデル、成人用筋電義手、排泄訓練用装置などを実用化しました。



▲改良型筋電義手

▲排泄動作支援ロボット

AI・コミュニケーションミッション

高齢者の身体機能の衰えを立ち上がり動作のみで評価できるBody-KIN®をベースとして、AI・ロボット技術を活用した認知・健康評価システムや介護予防の仕組み(RoboWELL)などを研究開発し、介護予防に取り組む県下市町や通所リハ施設での活用をめざしています。



また、コロナ禍においても活用可能な遠隔健康評価システムやモートリハビリの仕組みを実現するための研究開発を進めています。



▲運動能力評価システム Body-KIN

▲簡易テレビ通話システム

介護ロボット開発支援・普及推進・研修センター

●開発支援

ひょうご KOBE 介護・医療ロボット開発支援窓口を設置し、企業の開発に向けた情報提供やアドバイス支援、介護施設向け導入支援を行っています。新たに整備した「ニーズ・シーズ 介護ロボサロン」で介護ロボットの潜在利用者と開発企業との交流機会を創出、実際の生活空間を再現できる「次世代型住モデル空間」において、セラピストや研究員等が計測機器を用いて使いやすさの実証評価を行い、本当に役立つ福祉用具や介護ロボットの開発につながるよう支援します。



▲ニーズ・シーズ 介護ロボサロン



▲次世代型住モデル空間 介護負担量の評価

●普及推進

次世代型住モデル空間を活用した移動支援ロボットや排泄動作支援ロボット等の導入支援を行っています。福祉用具展示ホールでは、代表的な介護ロボット 28 点はじめ、約 700 点の用具の常設展示を通じて、関係者の皆様の導入・活用についての相談支援や情報提供を行っています。

また、特別展示会やセミナーなどのイベントを開催し、広く関係者に向けた普及推進を図っています。



福祉用具展示ホール▶

●研修

誰もが住み慣れた地域で安心して生活できるまちづくりの一環として、高齢者介護・障害者支援にかかる専門的人材の育成を目的に、兵庫県から委託を受け、法定研修を実施しています。また、法定研修修了者のフォローアップ研修やノーリフティングケアの普及に向けた研修なども開催しています。



●持ち上げない介護推進プロジェクト

不良姿勢や力任せのケアを見直し、「介護する側、受ける側双方の安全・安心なサービス提供・ケアの取り組み」の普及啓発を目的に、ノーリフティングケア研修と認定制度を核とした「持ち上げない介護推進プロジェクト」を実施、認定を受けた「ひょうごノーリフティングケアモデル施設」と協力しながら、県内の介護施設等への普及を推進しています。



テクニカルエイドサービス

福祉用具は、使う人や使用する環境に応じて適切に適合させることが大切です。研究所では、福祉用具展示ホールの展示品や専門的な計測装置等を用いて、使いやすい福祉用具の適合を支援するテクニカルエイドサービスを実施しています。

また、障害者総合支援法に基づく小児筋電義手等の製作・修理も行っています。



小児筋電義手パンク

小児筋電義手パンクは、子ども用の筋電義手（筋力が収縮する際に発生する微弱な電流を利用して動かすことができる電動の義手）の普及を目的として設立されました。兵庫県をはじめ、全国各地の多くの皆さまから温かなご厚意をいただきしており、筋電義手を必要とするお子さまへの訓練用筋電義手の無償貸出しや小児筋電義手の訓練を行う人材の育成などに活用させていただいております。



●職員 Voice ● 開発指導員 / 斎藤 真衣

研修センターでは、主に介護・福祉現場で働かれている方々を対象とした様々な研修を実施しています。兵庫県から委託を受けている法定研修(認知症介護、障害福祉)や自主研修(主に介護予防)を通じ、

高齢者や認知症の方、障害のある方々が、地域で暮らすために必要な支援を行える人材の育成に取り組んでいます。

のぞみの家

夢と潤いのある
生活をめざして

〒651-2181 神戸市西区曙町1070
(総合リハビリテーションセンター内)
TEL 078-927-2727(代) FAX 078-925-9275
E-mail info_nozomi@hwc.or.jp
<https://www.hwc.or.jp/nozomi/>

アクセスは14ページをご覧ください



施設案内

救護施設 入所 100 名
保護施設通所 9 名

自立をめざす施設

生活保護法第38条で規定された救護施設で、さまざまな障害を持ち地域においてひとりで生活することが困難なため保護が必要とされる方々を受け入れ、日常生活の自立に向けて援助・介護などのサービスを提供しています。

また、社会のニーズに応えられる救護施設であるために、地域のセーフティネットの一翼として精神病床からの退院者、矯正施設等からの退所者、ホームレス等の社会的支援を必要とする方々を受け入れ、地域生活への移行支援の充実と自立に向けた支援を積極的に実施しています。

地域での居宅生活をめざして.....

● 居宅生活訓練事業

サービスの提供により生活力が向上された利用者が地域での生活へと移行を進めるため、福祉事業所等と連携し近隣のアパート等を借り上げ、居宅生活に必要な訓練を実施し在宅生活につなげています。



▲調理実習



▲技能実習生

外国人技能実習生の受け入れ.....

ベトナムからの技能実習生を迎えていました。救護施設では障害者支援、高齢者介護の両方を行う必要があり、目標に向けて日々努力する姿勢は職員にとってもよい刺激となっています。職員・実習生が一丸となってより良い利用者サービスに向けて取り組んでまいります。

社会生活力向上のために.....

● 社会生活力プログラム

のぞみの家では、毎週木曜日に、利用者の社会生活力向上のため、『社会生活力プログラム』を実施しています。健康、金銭管理、コミュニケーション等テーマを決めて、グループワークを中心に取り組んでいます。テーマに応じて、自分の意見を整理しながら発表したり、人の意見を聞いたりすることで、自分自身の生活を振り返り、社会で生活する力を付けていくことを目標にしています。



▲掃除の仕方



▲地域移行プロセスシートの活用



▲屋外音楽クラブ

潤いのある生活のために.....

● 日中活動の充実

日中の時間を利用して、緩衝材の袋詰めや中央病院の屋外リハ訓練場の清掃等を作業として行っています。

また、多くのボランティアに生花クラブ・音楽クラブ・セラピードッグ・茶話会のお手伝い等で協力をもらっています。

そして、当センターの専門職の協力を得て理学療法士や作業療法士によるリハビリテーションの指導を受けたり、体育指導員によりスポーツレクリエーションを実施しています。

● 職員 Voice

支援員 / 石川 莉美



のぞみの家では、地域移行に向けて居宅生活訓練事業や社会生活力プログラムなどの取り組みに力を入れています。また、個別支援を通して利用者様の希望に沿った活動の提供や外出を行い、余暇の充実を行っています。日々の生活では、生け花、カラオケ、

脳トレなどのクラブ活動、茶話会やドッグセラピーなどの日中活動をおこなっており、利用者様の施設での楽しみの機会を設けています。今後もさまざまな活動を通して、地域に開かれた施設をめざしてまいります。

おおぞらのいえ

おひさまより まぶしい
笑顔がいっぱい おおぞらのいえ

〒651-2181 神戸市西区曙町1070
(総合リハビリテーションセンター内)

TEL 078-927-2727(代) FAX 078-925-9253
E-mail oozora@hwc.or.jp
<https://www.hwc.or.jp/ozora/>

アクセスは14ページをご覧ください



施設案内

障害児入所施設 20 名
短期入所 4 名
児童発達支援 10 名
日中一時支援 (日帰り利用)
<神戸市・明石市指定> 1 ~ 2 名

障害のある子どもたちを支援する施設

養護性の高い肢体不自由児を主として受け入れ保護とともに、温かい家庭的な雰囲気をもった生活の場を提供し、子どもたち一人ひとりの自立に向けた支援を提供しています。



医療（訓練）との連携.....

中央病院（小児整形外来）の処方に基づく訓練を受けています。

また、日常生活面では、看護師や支援員が体力づくりや機能維持、心身の健やかな成長を促す支援に努めています。セラピストとのカンファレンスも実施しています。

教育との連携.....

おおぞらのいえの入所児童は、併設された兵庫県立のじぐく特別支援学校おおぞら分教室（幼稚部～中学部）、高等部からはスクールバスで本校に通学します。施設と学校で定期的にカンファレンスを実施し、個々の状況に応じた支援を行っています。



地域で暮らす障害のある子ども

家族への支援.....

● 短期入所

身体等に障害のある児童を短期間預かり、入浴・排泄・食事の介護等を行います。

● 日中一時支援 (日帰り利用)

神戸市・明石市の指定を受け、日帰りのショートステイを提供しています。

● 児童発達支援

身体等に障害のある、また発達の気になる就学前の児童を対象に、日常生活動作の習得および集団生活への適応に必要な支援を行っています。



● 職員 Voice

支援員 / 久保 京加



おおぞらのいえでは、主に肢体不自由がある子どもたちが生活しています。平日は学校に通い、休日には外遊びや季節の行事を行っています。行事では、子どもたちの普段とは違う姿や素敵な笑顔をみることができます。私たちは、子どもたち

が安心して過ごせる温かい「いえ」のような環境作りを心がけ、保護者や学校、各関係機関と連携しながら一人ひとりの自立に向けた支援を行っています。

職業能力開発施設

〒651-2181 神戸市西区曙町1070
(総合リハビリテーションセンター内)
TEL 078-927-2727 代 FAX 078-925-9223
E-mail noukai@hwc.or.jp
<https://www.hwc.or.jp/noukai/>

アクセスは14ページをご覧ください



職業能力の評価・開発訓練

障害のある方が、職業的可能性を見いだし、働く場を得てその生活を継続できるよう支援していくことを目的に設置された、兵庫県独自の施設です。科学的な評価システムによる職業能力の評価と、作業環境を工夫した開発訓練、職場実習、定着支援など、一連の就労支援サービスを提供しています。

幅広い視点の評価と実務に向けた訓練

●職業評価・訓練

ライン作業やピッキング作業などのワークサンプル（作業標本）をはじめ、事務作業、パソコン操作等、さまざまな視点から就業に向けて必要とされる作業能力や労働習慣の評価をし、適切な進路や訓練目標の設定につなげています。また、必要に応じて反復的な模擬訓練から実践的な訓練の他、日商PC検定の資格取得に向けた訓練も行っています。



▲評価ワークサンプル

●在校生職能評価

特別支援学校等の在校生を対象に、2～4日間の日程で現状の能力や課題を評価し、適切な進路や訓練目標の設定につなげています。県下、多くの特別支援学校等に利用いただいているです。

●障害者しごと体験

就職を希望する障害者に就労体験や職場見学等しごと体験の機会を提供するために、受入企業（協力企業）の開拓・確保から、しごと体験の実施調整等を行います。

●重点分野（清掃・介護）における就労促進

就労に必要な基礎知識と技術習得を、専門家から教わる研修会を開きます。介護研修においては、知的障害者等を対象に「生活援助従事者」の資格取得に向けた研修を行います。

●障害福祉サービス事業所の工賃向上支援

障害福祉サービス事業所の作業技術向上の支援を行います。そこで作られた商品の販路開拓等を支援します。



▲障害福祉サービス事業所の工賃向上支援



▲障害者しごと体験

●さまざまな事業で、全県の就労支援の推進を担って

●障害者雇用・就業支援ネットワーク

障害者雇用推進に向けて、就労支援関係機関から当事者団体、事業主から労働組合まで含め、全県的に連携を進めています。システムの事務局を担当しています。

●ひょうごジョブコーチの養成・登録派遣

障害者の職場定着の充実を図るために、県独自のジョブコーチの養成、登録、派遣を行います。

●高次脳機能障害のある方の評価・訓練システムの開発

高次脳機能障害のある方の職能評価の充実や、開発（訓練）部門を創設し、より実践的な訓練を行います。

・ビルメンテナンス技術習得訓練事業

・職業ガイダンス

・就労移行支援事業（B型アセスメントのみ）

●その他の事業

- ・ビルメンテナンス技術習得訓練事業
- ・職業ガイダンス
- ・就労移行支援事業（B型アセスメントのみ）

●職員 Voice

支援員 / 益山 優美



職業能力開発施設では、特別支援学校の生徒や、障害のある方等の就職や復職に向けた職能評価、開発訓練を行っています。利用者一人ひとりの適性や課題を見つけ、将来の就職に向けた訓練や支援の方針と一緒に考えます。

また令和2年度から新しく「ひょうごジョブコーチ推進事業」が始まりました。就職後、職場等で支援を実施し、障害のある方が長く働き続けられるようサポートします。

あけぼのの家

障害のある方々の「働く」を応援します

〒651-2181 神戸市西区曙町1070
(総合リハビリテーションセンター内)
TEL 078-927-2727 代 FAX 078-925-9223
E-mail info_akebono@hwc.or.jp
<https://www.hwc.or.jp/akebono/>

アクセスは14ページをご覧ください



多機能型事業所

就労移行支援 …… 10名 就労定着支援
就労継続支援B型 …… 45名



障害者の就労を応援

障害のある方に働く場を提供し、自立した日常生活と社会経済活動の参加を応援するとともに、企業等に就職して働き続ける力をつける訓練など、個々のニーズに寄り添ったさまざまな就労支援サービスを提供しています。

高工賃をめざして

●就労継続支援B型事業

障害のある方々の働く場を提供し、高工賃支給のため、さまざまな生産活動支援を行っています。

また、個別支援の必要な方や段取り・手順が理解できる方など、一人ひとりに合わせた作業の仕方を工夫しています。

職員食堂（キッチン・アケボーノ）のランチやパンの製造販売、企業から受託した部品加工、名刺・冊子等のデザインや印刷、病院の植栽管理、総合リハビリテーションセンター内の清掃等、多様な活動機会の提供を行っています。



▲軽作業

一般企業への就職支援

●就労移行支援事業

企業への就職を希望する方に、就労に向けて必要な知識、能力の向上を図れるよう支援しています。評価、実践作業訓練、求職活動、マッチング、職場定着支援を行っています。

就労移行支援では、職業準備性を高めるための基礎訓練を行い、応用・実践訓練へとステップアップします。

また、グループワークや個別支援により、就労意欲の増進を図っています。



▲就労準備訓練



▲作業訓練

就労を長くつづけるために

●就労定着支援事業

就労の継続を図るために企業等との連絡調整や就労に伴い生じる課題解決に向けて必要な支援を行っています。



▲病院の清掃

その他の事業

●土曜オープンdayの実施

自由時間の活動支援等を目的とした「土曜オープンday」の実施



▲清掃作業



▲軽印刷



▲パン製造・販売
(焼き立てパン AKE-BUONO)



▲食品加工
(キッチン・アケボーノ)

●職員 Voice

支援員 / 山脇 志津香



あけぼのの家では障害のある方々の「働きたい」との思いを支援すべく、パンの製造販売や職員食堂の運営の他、清掃作業や軽作業など様々な作業に取り組んでいます。

就職に向けたトレーニングや工賃の獲得等、ご利用目的に合わせて計画を立て、スマイルステップを意識した支援を心がけています。

自立生活訓練センター

〒651-2181 神戸市西区曙町1070
(総合リハビリテーションセンター内)
TEL 078-927-2727 代 FAX 078-925-9229
E-mail info_jiritsu@hwc.or.jp
<https://www.hwc.or.jp/jiritsu/>

アクセスは14ページをご覧ください



障害者支援施設

施設入所支援 135名
自立訓練(機能訓練 108・生活訓練 24) 132名
短期入所



社会復帰をめざし、ニーズに合わせた自立訓練を支援

自立生活訓練センターは、「ともに頑張る仲間がいます。あなたの自立をめざして…」をモットーに、身体に障害のある方や高次脳機能障害のある方に対して、社会復帰をめざした自立訓練（社会リハビリテーション）を行っています。

利用者のニーズに応じた訓練メニューを選定し、訓練・評価・生活支援を通じ、身体能力・社会生活力を向上させ、職場や学校、家庭など、地域社会へ復帰するため必要な機能の回復を図ります。

機能・体力の向上、自立した生活をめざして.....

●自立訓練（機能訓練）

車椅子操作訓練、立位歩行訓練、坂道訓練などを通じて、体力や移動能力の向上を図るとともに、障害者手帳を利用した公共交通機関を利用する訓練を行っています。また、日常生活動作の自立に向けた練習や単身生活に向けた調理訓練など一人ひとりのニーズに合わせた訓練を実施しています。さらに、障害者スポーツ交流館を利用したマシントレーニングやさまざまなレクリエーションスポーツを行い、障害者スポーツへの参加も支援しています。



▲屋外での車椅子操作訓練

●自立訓練（生活訓練）

病気や事故後の後遺症として高次脳機能障害（注意障害・記憶障害・遂行機能障害・失語症等）を有する利用者に集団プログラムを実施しています。また、家族との協働により効果的な対応方法を検討し、その成果を施設や地域での生活につなげています。



▲単身生活シミュレーション

障害者自動車運転相談センター.....

●自動車運転評価・訓練

障害のある方の自動車運転操作能力を評価する「試乗適性評価」、自動車運転の「習熟訓練」を行い、移動手段としての実用性を見極めます。脊髄損傷、左・右片麻痹など障害特性に合わせた改造車を使用でき、自家用車の選定や改造、免許更新時の手続き等に関するアドバイスも実施しています。また、近隣教習所と連携し、自動車運転免許の新規取得に向けて支援しています。



▲自動車の車椅子積み込み動作

社会復帰に向けて.....

●利用者個々へのアプローチ

復学、復職、就労、単身生活など、利用者個々の目標は異なります。それぞれの状況に合わせたプランを立て、よりスマートな社会復帰につながるよう支援しています。



▼住宅訪問による改修案の提案

▲復職に向けた通勤練習▲

その他の事業.....

介助犬・聴導犬の認定審査事業



● 職員 Voice ●

支援員 / 駒田 七海

当施設では自立生活をめざす方への社会復帰を支援するために、利用者様それぞれの目標に合わせて、体育訓練や高次脳機能障害支援プログラム、自動車運転評価・習熟訓練等を実施しています。

また、在宅復帰や職場復帰を見据えた訪問を通し

て、具体的なニーズや課題が見つかり、施設での訓練にも取り入れています。

今後もさまざまなニーズに対応できるようチーム一丸となって支援していきます！

地域ケア・リハビリテーション支援センター

住み慣れた地域でいきいきとした生活ができるよう全力でサポートします

事業所・窓口

- ・兵庫県地域リハビリテーション支援センター
- ・高次脳機能障害相談窓口
- ・障害者相談支援センター
- ・訪問看護ステーション
- ・在宅ケアステーション

〒651-2181 神戸市西区曙町1070
(総合リハビリテーションセンター内)

TEL 078-927-2727 代 FAX 078-925-9299
E-mail consult_reha@hwc.or.jp
<https://www.hwc.or.jp/rihacenter/sougousoudan/>

アクセスは14ページをご覧ください



地域生活における相談及び支援を行う総合窓口

地域ケア・リハビリテーション支援センターでは、高齢者や障害者が地域の中で安心して暮らし続けられるよう、看護師、リハビリスタッフ、介護支援専門員、訪問介護員など多職種が有機的に連携し、トータルな医療・福祉サービスを提供しています。

就学に関する相談を行っています。ご本人の状況の把握・社会資源等の説明、必要な関係機関との連携を行っています。



▲電話相談も受けています

障害者の地域生活を全力で支援！.....

●たまつあけぼの障害者相談センター

神戸市西区にお住まいの障害児や障害者とその家族等との電話、来所、訪問による相談を行っています。また、西区自立支援協議会の事務局でもあり皆様がその人らしい生活がおくれるよう地域の仕組みづくりを行っています。



暮らしの「安心」サポーター！.....

●総合リハ訪問看護ステーション

自宅等で療養生活をしている方を対象に、看護師や理学療法士、作業療法士等が訪問し、ご本人や家族に対して生活の質を高めるためのサービス提供を行っています。また、ステーションでは利用者の暮らしの安心をサポートするために、各職種が常に連携して、ケース検討会議を重ねています。



▲地域での介護予防の取組

自宅での自立生活をサポート！.....

●総合リハ在宅ケアステーション

私たち訪問介護員は、利用者が住み慣れた地域で、安心して自分らしい生活が継続できるようにサポートしています。当センターの特徴を活かし、他職種との連携を持ちながら高齢者や障害者に対してさまざまな角度から質の高いサービスを提供することを目標に支援しています。

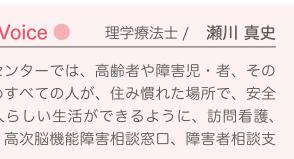


利用者と一緒に買い物支援▶

一人ひとりの心の想いに真摯に向き合う！.....

●総合リハ高次脳機能障害相談窓口

脳外傷や脳疾患などが原因として起こる高次脳機能障害を持つ方を対象に、医療・福祉サービス、社会保障制度、就労



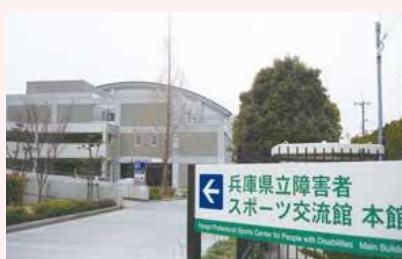
理学療法士 / 濑川 真史

当支援センターでは、高齢者や障害児・者、その家族を含めすべての人が、住み慣れた場所で、安全に、その人らしい生活ができるように、訪問看護、訪問介護、高次脳機能障害相談窓口、障害者相談支

障害者スポーツ交流館

〒651-2181 神戸市西区曙町1070
(総合リハビリテーションセンター内)
TEL 078-927-2727(代) FAX 078-927-8022
E-mail kouryukan@hwc.or.jp
<https://www.hwc.or.jp/kouryukan/>

アクセスは14ページをご覧ください



スポーツを通じた健康づくりと交流の場を提供

平成18年10月に開催された、「のじぎく兵庫大会（全国障害者スポーツ大会）」にあわせ、県下障害者スポーツ振興の中核拠点として開設されました。主な事業は、健康の維持増進、競技力向上、社会参加の促進等を目的に各種スポーツ大会や教室、社会貢献事業等を関係機関との連携を図りながら開催しています。また、東京パラリンピックの開催に向けて、県内各障害者競技団体・個人への育成強化にかかる情報の収集と提供、指導支援にも取り組んでいます。

すそ野の拡大.....

スポーツ大会、教室や体験会を通じて、スポーツ人口の増加を図ります。

卓球交流会▶



選手の育成強化.....

各種大会や強化練習会を開催し、個人、団体の育成強化を図ります。

◀東京パラリンピック開催記念事業（アーチェリー交流会）



社会貢献・

情報収集と発信.....

関係機関と連携し、市民講座や地域交流事業を開催しています。

▲公開講座



障害者スポーツ推進プロジェクト.....
選手の発掘・育成・強化・参加促進を行い、障害者スポーツの普及啓発や環境整備等に取り組みます。

◀陸上練習会

障害者スポーツ指導者、ボランティアの養成.....

障害者スポーツを支える、人材育成を図ります。



施設の概要

1階…駐車場(120台)

2階…アリーナ(バスケットボールコート2面分)

障害者スポーツに配慮した設備環境になっており、下記のようなスポーツの実施が可能となっています。

- ・バドミントンコート 6面
- ・ポッチャコート 8面
- ・シッティングバレーボールコート 4面
- ・フライングディスクアキュラシー 10サイトなど
- ・ツリークライミング (国内初の設備を設置)

3階…トレーニング室

(筋トレマシン 8機種、有酸素系マシン 6機種等)

- ・フリークライミングボード
- ・アーチェリー設備 (30m・4的)
- ・観戦スペース (200m)

○開館時間 9:00 ~ 21:00

○休 館 日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、
12/29 ~ 1/3

※施設のメンテナンス等により臨時休館日を設ける場合があります。



職員 Voice

体育指導員 / 増田 孝幸

東京パラリンピックに向けて、障害者スポーツへの理解と関心も高まっています。皆さんもパラスポーツを知り、選手たちと交流を深めて、応援していきましょう。

障害者スポーツ交流館では、リハビリテーション



中央病院や福祉のまちづくり研究所等と連携して、障害者はもとより、高齢者から子どもまで、誰もが安心して利用でき、世代間を超えた交流をスポーツという媒体を通じておこなえる場所をめざしています。

西播磨総合リハビリテーションセンター

豊かな緑と自然に包まれて地域とともに歩み、成長する総合リハビリテーション

〒679-5165 たつの市新宮町光都1丁目7-1

TEL 0791-58-1050(代)

FAX 0791-58-1070

E-mail info_nishiharima@hwc.or.jp<https://www.hwc.or.jp/nishiharima/>

障害者・高齢者の自立と社会参加の支援を

兵庫県西部の豊かな自然に囲まれ、人と自然が調和する播磨科学公園都市に、西播磨病院、研修交流センター、ふれあいスポーツ交流館（体育施設）の3施設を設置し、障害者や高齢者の自立と社会参加の支援のためのリハビリテーションサービスを提供しています。西播磨病院では、従来のリハビリ療法に加え、音楽療法や園芸療法の多様なリハビリテーションを提供、研修交流センターでは、障害者や健常者の共生の場の提供と地域の福祉ニーズに応えるために、研修や地域との交流等を実施、また、ふれあいスポーツ交流館では、障害者スポーツ等の普及に取り組んでいます。

●施設案内図●



①西播磨病院



内観



③研修交流センター



④ふれあいスポーツ交流館



②リハビリガーデン



病棟



リハビリ室



トレーニング室



プール

西播磨病院 チーム医療をモットーに 質の高いリハビリテーションをめざします

〒679-5165 たつの市新宮町光都1丁目7-1
(西播磨総合リハビリテーションセンター内)
TEL 0791-58-1050(代) FAX 0791-58-1071
E-mail info_nishiharima@hwc.or.jp
<https://www.hwc.or.jp/nishiharima/hospital/>

アクセスは26ページをご覧ください



施設案内

病床数

一般病床 100床
〔・回復期病棟 50床〕
・障害者病棟 50床

診療科目

内科・脳神経内科・循環器内科・整形外科・
もの忘れ外来・リウマチ科・泌尿器科・
リハビリテーション科・眼科・歯科

西播磨病院は
日本医療機能評価機構認定病院です

本体審査
病院機能評価 3rdG:Ver.1.1



付加機能審査
リハビリテーション機能(回復期)Ver3.0

先進的・特徴的な取組

SPECT-CT検査

体内に注入したRI(放射性同位元素)の分布状況を断層画面で見る検査のことです。



基準嗅覚検査

5種類のにおいを嗅いで、においを感じることができるか、識別することができるかを調べます。



失語症外来

一定期間が過ぎても、医師が必要と認めた方に対して、専門訓練やフォローを行っています。



Honda歩行アシスト歩行練習

効率的な運動を高頻度に繰り返すことで、歩行能力の向上を図っています。



表面電気刺激装置

筋肉を電気的に刺激して、運動の回復を図る訓練を取り入れています。



患者さま本位のサービス提供

早期の在宅復帰をめざした集中的・効果的なリハビリを提供するため、休日においても個別訓練を実施するとともに、退院後も安心してリハビリが受けられる介護保険による通所リハビリテーションを実施しています。

運営理念および基本方針

運営理念

地域とともに歩み成長するリハビリテーション専門病院をめざします。

運営基本方針

1. 先進的で個別的なリハビリテーションサービスを提供します。
2. 早期に家庭へ復帰し、地域でその人らしい生活ができるようめざします。
3. 情報を共有し、安全・安心で患者と家族本位のチーム医療サービスを提供します。
4. 人間性豊かで専門技術に優れたリハビリテーション人材の育成に努めます。

地域での生活を支える医療サービス

短時間通所リハビリ

(対象: 介護保険の認定者)

訪問調査により、生活状況を踏まえ、必要なリハビリを行います。



●認知症疾患医療センター
認知症の予防から相談、診断、リハビリ、訪問まで専門スタッフによるサポートを行っています。

●神経難病リハビリテーションセンター
神経難病リハビリテーションに関する「治療・研究」を中心、「研修・養成」、「情報提供」及び「相談」を一体的にサービス提供いたします。



●総合相談・地域連携室
生活上の不安や心配ごとに相談に応じ、より良い解決方法が見つかるよう手伝いいたします。

個別的なリハビリテーション

当院では、理学療法、作業療法、言語聴覚療法によるリハビリテーションを回復期病棟を中心に365日体制で実施しています。このほか、音楽療法、園芸療法や認知リハビリテーションなど多様な取組を進めています。



▲集団での楽器演奏

▲野菜・花の育苗

多様なニーズへの対応

病棟生活がリハビリの場として意欲を高められるように働きかけ、個別性を重視した適切な援助を展開しています。認定看護師による看護師相談をしています。



▲リエゾン回診

▲パーキンソン患者の集団訓練



▲看護相談

▲嚥下体操

県民公開講座

地域住民に、難病等疾患の正しい理解と、リハビリテーション西播磨病院の取組を知ってもらえるよう、公開講座を開催しています。



職員 Voice ● 言語聴覚士 / 中岡 三紀子

当院は緑豊かで広々とした環境の中、脳卒中や神経難病などの患者様に対し、在宅・社会復帰に向けて専門性の高いリハビリ医療の提供を行っています。

新たな取り組みとして、昨年11月に摂食嚥下支

援センターが開設されました。短期の入院で嚥下機能の評価、食事内容や安全な食べ方などのアドバイスを行っています。

今後も地域に密着した支援ができるように努めています。

● 障害福祉サービス等 ●

生活介護

常に介護を必要とする人に、昼間・入浴・排泄・食事の介護等を行うとともに、創作的活動又は生産活動の機会を提供します。

短期入所（ショートステイ）

自宅で介護する人が病気の場合などに、短期間、夜間も含め施設で、入浴・排泄・食事の介護等や日常生活上の支援を行います。

施設入所支援

施設に入所する人に、夜間や休日、入浴・排泄・食事の介護等や日常生活上の相談支援等を行います。

自立訓練（機能訓練・生活訓練）

自立した日常生活又は社会生活ができるよう、一定期間、身体機能又は生活能力の向上のために必要な訓練を行います。

就労移行支援

一般企業等への就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために事業所内や企業において作業や実習等の訓練を行います。

就労継続支援（A型、B型）

一般企業等での就労が困難な人に働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。

就労定着支援

就労移行支援等を利用して、一般企業に就労した人の雇用の継続を図るために、関係機関との連絡調整を行うとともに、日常生活及び社会生活上の相談支援等を行います。

共同生活援助（グループホーム）

夜間や休日などに、共同生活を行う住居で、相談・入浴・排泄・食事の介護等の日常生活上の援助を行います。

地域移行支援

入所施設等から退所する人に対して、施設等と連携しながら地域移行に向けての支援を行います。

地域相談支援

入所施設等から退所した人等に対して、地域生活継続のための支援を行います。

地域定着支援

障害のある人、又は、障害のある児童に対して、適切なサービス利用等に向けて、サービス等利用計画の作成等の支援を行います。

計画相談支援

障害のある人、その保護者又は介護者などからの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言等を行います。また障害のある人の権利擁護のために必要な支援を行います。

障害児相談支援

障害のある人に日中における活動の場を確保し、その家族の就労支援及び介護している家族の一時的な負担軽減を図ります。

● 児童福祉サービス等 ●

障害児入所施設

児童福祉法第42条に基づき、障害のある児童を入所させて、保護するとともに、独立自活に必要な知識技能を与えることを目的とする施設です。

児童心理治療施設

児童福祉法第43条の2に基づき、家庭環境、学校における交友関係その他の環境上の理由により社会生活への適応が困難となった児童を、短期間、入所させ、又は保護者の下から通わせて、社会生活に適応するために必要な心理に関する治療及び生活指導を中心として行い、あわせて退所した者について相談その他の援助を行うことを目的とする施設です。

児童発達支援

障害のある児童に、日常生活動作の指導や、集団生活に対する適応訓練等の支援を行います。

放課後等デイサービス

障害のある児童に、生活能力の向上に向けた訓練や、社会との交流が図れるように支援を行います。

■ 小野起生園 共に支え合い 喜びもあなたと共に！

〒675-1355 小野市新部町1丁通1320

TEL 0794-66-4570 FAX 0794-66-6156(総務課)

TEL 0794-66-6121 FAX 0794-66-6158(支援課)

E-mail info_ono@hwc.or.jp

<https://www.hwc.or.jp/kiseien/>



その人らしい生活をめざして

小野起生園では、その人の「暮らす」と「働く」をテーマに、ライフステージに合わせた自立に向けた支援を行っています。また、施設だけのサービスにとどまらず、行政・医療機関・地域コミュニティ等との「地域連携」により、一人ひとりのニーズに合った支援をめざしています。

障害者支援施設

施設入所支援 40名

短期入所 2名

生活介護

・第一生活介護 20名

・第二生活介護 20名



暮らす～安心・潤い～

○施設入所・短期入所

好きな物を買いたい、行ってみたいところがある、一人暮らしをしたい等、その人の自己実現を支援しています。また、季節行事を開催し、施設での生活が豊かなものになるよう支援しています。地域の方の必要に応じて短期入所の受入も行っています。



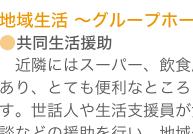
▲希望外出（浜坂温泉保養荘）



▲第二生活介護（収穫祭）



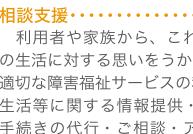
▲第二生活介護（作業）



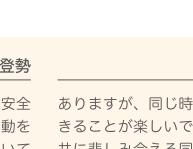
▲季節行事（納涼の夕べ）



▲季節行事（年忘れ会）



▲季節行事（納涼の夕べ）



▲季節行事（年忘れ会）

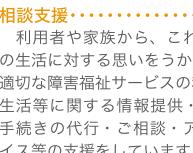
働く・楽しむ ～いきがい・やりがい～

○生活介護

利用者のニーズに合わせて第一生活介護と第二生活介護に分かれてサービスを提供しています。第一生活介護は入浴やレクリエーション等生活支援を中心に、第二生活介護は作業活動、クラブ活動を中心に楽しみや働く意欲を支援しています。



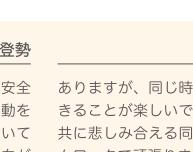
▲第一生活介護（外出支援）



▲第一生活介護（外出支援）



▲第一生活介護（外出支援）



▲第一生活介護（外出支援）

● 職員 Voice ● 支援員 / 森本 千登勢

小野起生園では、利用者様一人ひとりが安心安全な環境の中で自分らしい生活を送り、作業や活動を通して社会とのつながりを身近に感じていただけています。近年、利用者様・支援員も高齢化の傾向が

あります。同じ時代を担当してきた者同士、共感できることが楽しいです。今後も利用者様と共に喜び共に悲しみ合える同志のような職員をめざしてチームワークで頑張ります。

小野福祉工場

あなたの「働きたい」を
応援します

〒675-1355 小野市新部町1丁通1320
TEL 0794-66-6561 FAX 0794-66-6562
E-mail info_ono@hwc.or.jp
<https://www.hwc.or.jp/koujyo/>

アクセスは32ページをご覧ください



多機能型事業所

就労継続支援 A型 30名
就労継続支援 B型 30名



希望に寄り添い、
目標に向かって共に歩みます

小野福祉工場は、心身に障害のある方に働く場を提供し、社会的、経済的に自立した生活が送れるよう支援しています。



フェイシーシールド▶

安定した就労と地域社会の貢献をめざして.....

就労継続支援 A型

一般就労が難しい心身に障害のある方と雇用契約を結び、一定の支援を行なながら、安定して働ける場を提供しています。最低賃金を保障し、地元の取引先企業から求められる品質と生産性の向上をめざし取り組んでいます。



搬送機械部品の
組立作業▶

就労継続支援 B型

一般就労が難しく、雇用契約に基づく就労が困難である心身に障害のある方に軽易な作業やリサイクル作業等の生産活動の機会を提供し、必要なマナー・スキルの向上を図り、働くことの意欲向上につながるよう支援を行っています。



工具部品組立作業▶

地域とともに歩む.....

利用者の皆さんのがんばりを支えるため、管内の市町をはじめ、相談支援事業所、特別支援学校、障害者就労・生活支援センター、ハローワーク等の関係機関との連携のもと支援を行なっています。また、地域の方々との交流を図りながら工場運営に取り組んでいます。



▲北播磨障がい福祉ネットワーク会議 就労支援部会



▲福祉体験学習 ▲地域交流行事 起工祭

職員 Voice

技術指導員 / 山口 哲史



小野福祉工場はJR加古川線の河合西駅から徒歩20分。小高い丘の上に位置しています。障害のある方の働く場として、機械部品の組立やリサイクル関係の仕事を中心に行っています。利用さ

れる方の障害特性に合わせた幅広いニーズに対応できるよう作業内容と環境を整えております。

出石精和園

コウノトリとともに
未来へばたく出石精和園

〒668-0261 豊岡市出石町荒木1300

TEL 0796-52-4811 FAX 0796-52-4856

E-mail info_izushi@hwc.or.jp

<https://www.hwc.or.jp/seiwaen/>



地域から愛され、
信頼される施設づくりを推進

但馬の小京都とも呼ばれ、城下町として400年を超える歴史を持つ豊岡市出石町に、山の緑と田園風景に囲まれ穏やかな環境の中に各施設が点在します。

そこで、障害を有する児童から高齢者まで、地域で生活されサービスを必要とする方の良き相談窓口となり、利用者一人ひとりが地域生活をスムーズに行えるよう、関係機関と連携して各種の事業サービスを提供します。



成人寮

〒668-0261 豊岡市出石町荒木1300

TEL 0796-52-4811 FAX 0796-52-4856

【障害者支援施設】

施設入所支援 100名
生活介護 100名
短期入所 4名

第2成人寮

〒668-0204 豊岡市出石町宮内1031

TEL 0796-52-3438 FAX 0796-52-3439

【障害者支援施設】

施設入所支援 40名
生活介護 40名
短期入所 4名

第3成人寮

〒668-0204 豊岡市出石町宮内1031

TEL 0796-52-3438 FAX 0796-52-3439

【障害者支援施設】

施設入所支援 30名
生活介護 30名
短期入所 2名

出石精和園地域支援センター

〒668-0221 豊岡市出石町分212

TEL 0796-52-5288 FAX 0796-52-5322

多機能型事業所 RakuRaku

〒668-0221 豊岡市出石町分21-3

【多機能型事業所】

就労継続支援B型 35名
生活介護 25名

楽々庵出石店(うどん屋) ／らくらくベーカリー(パンの王様)

TEL 0796-52-4106

ラクラク工房(作業所)

TEL 0796-20-1117 FAX 0796-52-4107

楽々庵(豊岡店)

〒668-0033 豊岡市中央町2-4(豊岡市役所新庁舎2F)
TEL 0796-24-3188 FAX 0796-24-3188



笑顔あふれる その人らしい生活.....

成人寮

住み慣れた地域で「その人らしい生活」を叶えるために、令和2年春新しく整備した快適な空間で個別のニーズに応じた日常の介護やリハビリ、生活に潤いが持てる余暇活動(外出・クラブ活動・創作活動等)を楽ししながら「笑顔あふれる」毎日を送っていただけるよう、利用者の気持ちに寄り添い、思いを叶えていきます。

外出▶

ゆっくりゆったり楽しみながら…………

●第2成人寮

おむね45歳以上の方が生活されています。健康で楽しく日々を過ごせるよう口腔ケアを実施とともに、足浴・マッサージを行い、血行促進やリラクゼーションを図っています。また、レクリエーション化した機能訓練、音楽・創作、華道・茶道、陶芸等の活動を提供しています。さらに日常的な外出支援や、地域社会とのふれあい交流を推進しています。



▲たなばた



▲節分

大きな転換期～第3成人寮

施設入所・生活介護…………

●第3成人寮

令和3年度より児童寮から第3成人寮へと移行しました。障害児自立支援から少し目標を変え、機能の向上や維持に向け、一人ひとりに合わせた生活支援に取り組んでいます。

また、季節に合わせたイベントや個別外出も行い、社会資源の活用も支援しています。



▲自立課題



▲夏野菜栽培



▲委託作業



▲季節の行事

生まれ育った街で暮らし続けるために…………

●出石精和園地域支援センター

障害をもつ人が、その人らしく、安全・安心に、地域で暮らし続けるためには、多種多様な社会資源を的確に調整する必要があります。当センターでは計画相談支援はもとより、

市町から受託する基本相談支援や兵庫県から受託する障害者等相談支援コーディネート事業も含め、専門性の高いケアマネジメントを実践します。また、地域における「すまい・暮らし」の拠点となるグループホームも積極的に整備し、サービス提供を実践しています。

日中活動を応援…………

●多機能型事業所 RakuRaku

多機能型事業所 RakuRaku では、就労継続支援B型と生活介護の二つの事業を行っています。就労継続支援B型では、味自慢のうどん店「樂々庵出石店」、豊岡市役所食堂の「樂々庵豊岡店」、第2成人寮等の施設給食を担う「らくらくキッチン」、作業場で軽作業を行う「ラクラク工房」と多彩な活動メニューを用意しています。

一方、生活介護事業では、創作活動や軽作業をそれぞれのベースに合わせて実施しています。また、焼きたてパン「らくらくベーカリー」の運営も行っています。

ご利用される皆様が、日中活動を通して充実した日々が送れるよう支援を行っています。



▲生活介護の様子



▲らくらくキッチンの作業風景



▲らくらくベーカリーでの作業風景



▲楽々庵での作業風景



▲楽々庵「豊岡店」



▲地域イベント出店の様子

その他の事業…………

- ・障害者等相談支援コーディネート事業
- ・日中一時支援事業
- ・相談支援事業
- ・共同生活援助事業（グループホーム）
- 「こぶし荘」「いづし野」「クレバス」
- 「あじさい」「和（なごみ）」「ドリームハイツイズシ」
- ・児童発達支援事業・放課後等デイサービス

●職員 Voice

支援員 / 尾嶋 崇行



私が働く児童寮も、令和3年度から第3成人寮へと移行し、スタートしました。施設の改修なども重なり、慌ただしい日々を送っています。そんな中でも職員と利用者様が一緒になって、毎日自分たちの

できることを探し、楽しみを見つけ、自分らしいライフスタイルを確立できるよう頑張っています。

出石精和園 ひまわりの森

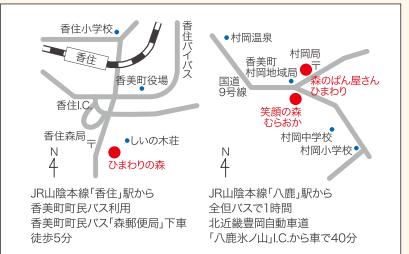
可能性は無限大 地域の中で
共に歩みつける ひまわりの森

〒669-6545 美方郡香美町香住区森 37

TEL 0796-36-4915 FAX 0796-20-3008

E-mail info_himawari@hwc.or.jp

<https://www.hwc.or.jp/himawari/>



多機能型事業所ひまわりの森

〒669-6545 美方郡香美町香住区森 37

TEL 0796-36-4915 FAX 0796-20-3008

生活介護 18名 就労継続支援B型 20名

生活介護事業所笑顔の森むらおか

〒667-1311 美方郡香美町村岡区村岡 182-1

TEL 0796-94-0244 FAX 0796-80-2906

生活介護 14名



地域に根ざし、
共に生きる拠点として



▲ひまわりの森
▲笑顔の森

働く喜び・楽しさを…………

●ひまわりの森・就労継続支援B型

贈答品用の箱折りやトレイへのスポンジ貼り、アルミ缶の回収とプレス作業、委託清掃などを実行し、就労への知識と技術の取得に向けた支援を行っています。また、パンの販売を行っています。



▲スポンジ貼り



▲パン販売

心から笑顔に…………

●ひまわりの森・生活介護

軽作業を行ったり、レクリエーション、外出、絵本の読み聞かせ、軽運動など、個々のニーズに応じた支援を行い、安定した日中生活を送っていただけるよう心掛けています。



▲ひな人形作り



▲ボリ作業

地域に愛されるパン屋さん…………

村岡地区に開設したパン屋では、利用者の皆さんがパンの陳列やレジ打ち、ラベル作成、接客など、自分で合った業務を取り組まれ、生き生きと働かれています。

また、地元企業や公共機関などへの移動販売にも取り組んでいます。



▲森のパン屋さん ひまわり

仲間と地域住民の笑顔が集まる場所…………

●笑顔の森むらおか 生活介護

軽作業を行ったり、レクリエーション、外出、絵本の読み聞かせ、軽運動など、個々のニーズに応じた支援を行い、安定した日中生活を送っていただけるよう心掛けられています。



▲地元高校生と交流



▲さおり織り作業

その他の事業…………

・共同生活援助事業（グループホーム）

「レジデンスカスミ A・B・C」

・日中一時支援事業

職員 Voice

支援員 / 岡澤 民子



●職員 Voice

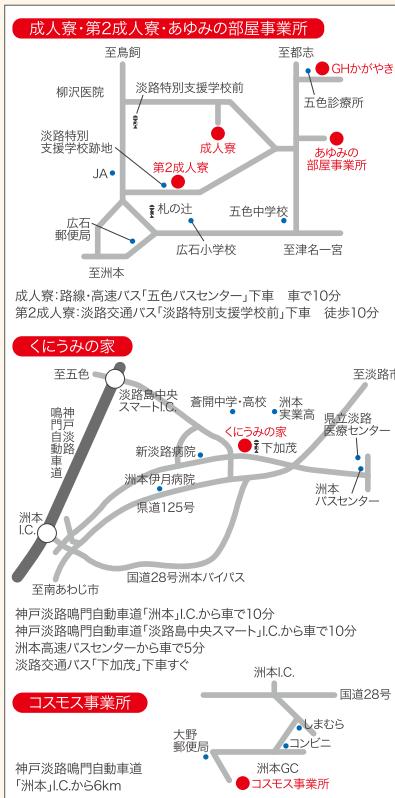
支援員 / 岡澤 民子

笑顔の森むらおかは兵庫県北部の中山間地域にある通所事業所で、日中活動の支援や地域生活の拠点として大きな役割を担っています。平成31年2月に生活介護事業がスタートしました。

職員は日々の支援に悩みながらも、それぞれの意見やアイデアを出し合うことを楽しみ、利用者様ご本人の自立を大切にした支援にチームワークで取り組んでいます。

五色精光園 365日24時間、看護師配置の安全・安心な施設

<https://www.hwc.or.jp/seikouen/>



ありがとうの笑顔 地域とスクラム みんなの未来へ

五色精光園は、「花と緑と玉葱の島」淡路島のほぼ中心部洲本市に位置しています。365日24時間看護師配置の障害者支援施設をはじめ、グループホーム、相談支援事業、障害者就業・生活支援センター、多機能型事業所等を運営しています。

五色精光園成人寮は平成24年3月の改築整備において全室個室、全館ユニバーサル仕様となり、障害特性に応じたユニット支援に取り組んでいます。特に、県下初となる高齢・重度者ユニットでは「高齢及び医療的ケアを要する重度知的障害を有する利用者」に『ゆったりのんびり豊かに、その人のペースで充実した生活を過ごしてもらいたい』を合言葉に、一人ひとりの安全・安心を担保した那人らしい生活を支援しています。



▲地域貢献活動

成人寮

〒 656-1332 洲本市五色町広石北 847
TEL 0799-35-0231 FAX 0799-35-0844
E-mail seikouen@athena.ocn.ne.jp

【障害者支援施設】
施設入所支援 80名
生活介護 100名
短期入所 7名

第2成人寮

〒 656-1337 洲本市五色町下堺 1062-3
TEL 0799-35-0326 FAX 0799-35-0725
E-mail goshikidainiseijin@ocn.ne.jp

【障害者支援施設】
施設入所支援 30名
生活介護 40名
短期入所 空床利用

くにうみの家

〒 656-0013 洲本市下加茂 1 丁目 6-63
TEL 0799-38-4192 FAX 0799-38-4193
E-mail kuniuninoie@snow.ocn.ne.jp

日中サービス支援型 共同生活援助 20名
グループホーム 短期入所 2名

あゆみの部屋事業所

〒 656-1317 洲本市五色町鮎原小山田 510-7
TEL 0799-32-0400 FAX 0799-32-0410
E-mail ayuminohoya@canvas.ocn.ne.jp

【多機能型事業所】
生活介護 20名
就労継続支援B型 10名

コスモス事業所

〒 656-0042 洲本市池内 1248-6
TEL 0799-23-1421 FAX 0799-23-1422
E-mail cosmos-sumoto@solid.ocn.ne.jp

【多機能型事業所】
生活介護 20名
就労継続支援B型 10名

健康で楽しく いきいきとした生活づくり.....

●成人寮

利用者一人ひとりの個性と想いを大切にした個別支援計画に基づき、線香箱折り等の委託作業、理学療法士・健常体操インストラクター、音楽療法士、太鼓、舞踊等の外部講師と連携した、健康で楽しくいきいきとした生活づくりに向けた支援を進めています。



▲成人寮 玄関



▲音楽療法



▲和太鼓「響」



▲ブラッシング指導

地域の中でその人らしさをはぐくみ支え合う.....

●日中サービス支援型共同生活援助事業所（くにうみの家）

●共同生活援助事業所（GH かがやき、GH スイートピー、GH マーガレット）

子どもから高齢者、障害者が集い行きかう場、入所や通所、総合相談、働く場など身近な地域で誰もが必要とする福祉やコミュニケーションが提供される「地域共生社会」の拠点として令和2年12月に日中サービス支援型共同生活援助事業所（グループホームくにうみの家）を開設しました。くにうみの家は年齢を重ねても安心して生活を続けていくことができるグループホームとして地域に根ざしたサービスを提供します。

また既存の共同生活援助事業所（GH かがやき、GH スイートピー、GH マーガレット）も規模を縮小しましたが、引き続き利用者の生活の場としてサービス提供を行っています。



▲くにうみの家



▲GH かがやき

くらす・はたらく、地域の日中活動拠点.....

●あゆみの部屋事業所・コスマス事業所

両事業所とも多機能型事業所（生活介護・就労継続支援B型）として運営しています。心身機能の維持・増進、創作活動の支援のほか、淡路特産のたまねぎ等農作物や健康志向のパン、クッキーづくり・販売や、老人ホーム等の清掃委託作業を通して、やりがいと働く喜びを感じられるよう、また、地域とのつながりを大切にした支援を進めています。



▲あゆみの部屋事業所



▲コスマス事業所



▲あゆみの部屋事業所 食パン「淡雲」



▲コスマス事業所 クッキー製造

その他の事業（くにうみの里 内）.....

●障害者就業・生活支援センター事業

●相談支援

●障害者専門職業紹介事業

●日中一時支援

●共同生活援助事業（グループホーム）30名

「かがやき」「スイートピー」「マーガレット」



職員 Voice

支援員 / 藤田 寶之

令和2年12月、兵庫県で3例目となる日中サービス支援型共同生活援助事業所「くにうみの家」をオープンしました。医療機関、商業施設の充実した洲本市街地に位置しており、それら社会資源を活用

したサービス提供をめざし職員一同取り組んでいます。またショートステイ(2名)も併設しており、地域における重度高齢化に対応した基幹的施設として期待されています。

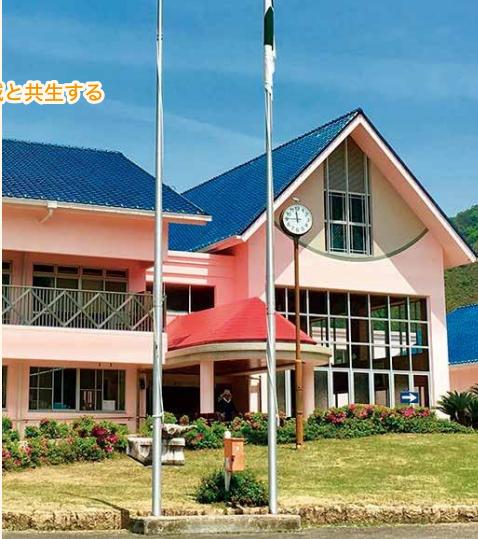
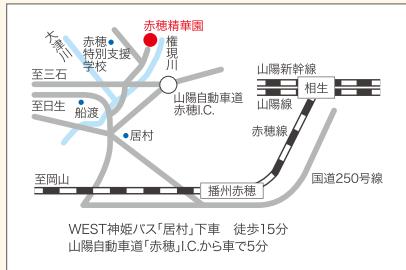
赤穂精華園 桜と太鼓で地域と共生する 赤穂精華園

〒678-0252 赤穂市大津 1327

TEL 0791-43-2091 FAX 0791-43-7404

E-mail info_ako@hwc.or.jp

https://www.hwc.or.jp/seikaien/



児童寮

障害児入所施設	36名
(施設入所支援・生活介護)	
障害児通所支援	10名
短期入所	1名

成人寮

【障害者支援施設】	
施設入所支援	
・第一施設入所支援	117名
・第二施設入所支援	64名
生活介護	
・第一生活介護	150名
・第二生活介護	64名
短期入所	4名

やまびこ寮

【障害者支援施設】	
施設入所支援	40名
就労継続支援B型	40名
短期入所	2名

子どもたちのよりよい育ちをめざして……

○児童寮（児童支援課・放課後等デイサービス）

児童寮は、小規模グループケア（定員8名×2ユニット）を取り入れ、家庭的な環境で健やかに成長し、その人らしく育ち、暮らしていくための支援を行っています。また、医療機関や学校等と連携を図り、多角的な視点をもって子どもの支援にあたっています。

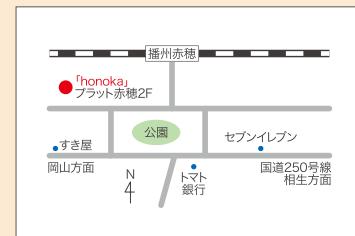
放課後等デイサービス事業では、在宅の障害児を受け入れ、子ども同士の関わりを通じて発達を促し、社会性が育まれるように支援しています。
▲和太鼓

忠臣蔵のふるさとにある施設

赤穂精華園は瀬戸内の温暖な気候と自然に恵まれ、忠臣蔵のふるさととして知られる赤穂市にあります。「地域に愛され親しまれる施設」をモットーに、赤穂精華園祭、赤穂精華園セミナーを開催しています。一人でも多くの地域住民に知ってもらい、地域とともに歩んでいく施設をめざします。

honoka

〒678-0239 赤穂市加里屋 290-10
TEL 0791-56-9660 FAX 0791-56-9661



います。休日にはスポーツ大会や買い物に、近くの神社や公園、グラウンドなどで遊びます。自活訓練室を活用して、地域生活に向けた支援も行っています。

放課後等デイサービス事業では、在宅の障害児を受け入れ、子ども同士の関わりを通じて発達を促し、社会性が育まれるように支援しています。

▼おやつ作り



一人ひとりの笑顔を大切に……

○成人寮（成人支援第一課）

楽しく潤いのある生活をめざす生活介護と施設入所支援事業を行っています。「その人らしい生活」を考えながら、利用者の思いや個性に配慮した支援を行っています。

季節の行事に加え、個々の利用者の趣味趣向に応じて、陶芸教室や音楽療法、ヨガ教室などさまざまな活動に取り組み、生活の充実をめざしています。また、日帰り旅行などの施設外活動や、地域のイベントへの参加を通じて地域との関わりを持ちながら、利用者一人ひとりの笑顔を大切に支援しています。

誕生会▶



▲農耕作業 ジャガイモ掘り

みんな元気で楽しく過ごそう！……

～一人ひとりに合わせた健康維持と楽しみづくりのお手伝い～

○成人寮（成人支援第二課）

成人支援第二課（重度棟）では、高齢化に伴い、利用者の体力維持を図ることを目的に、理学療法士等の専門職に相談しながら、個々に応じた補装具等の提供やリハビリ実施計画書に基づいたリハビリを実施しています。また、健康な歯で美味しい食事を目標に、歯科衛生士のブラッシング指導を受けながら、口腔ケアを行っています。穏やかに日々の生活を送っているだけのように、利用者個々の特性に配慮した支援、QOL(生活の質)の向上、楽しみの機会を持つて支援を心がけながら、日々取り組んでいます。

▲中庭でのくつろぎのひととき



◀ PT指導

●職員 Voice ● 支援員 / 河部 絵梨果

赤穂精華園は、児童から成人まで幅広い年代の方が生活されており、事業団の中でも大きな施設です。令和2年度にリニューアルした「honoka」での製造販売や地域のイベントへの参加等を通じて、地域

働く楽しさ・喜び・やりがいづくりを応援します……

○やまびこ寮（成人支援第三課）

就労継続支援B型事業(40名)では、播州赤穂駅隣接のプラット赤穂2Fにて「honoka」店舗を運営し、パン・ドーナツ・シフォンケーキなどのスイーツを製造販売しています。また、企業内での作業・草刈り・清掃・花壇定植などの受託作業や花苗の育成・販売を実施し、地域に密着した事業展開を行なうとともに、働く楽しさや喜びを感じていただけるように支援しています。

また、施設入所支援(40名)では自活訓練室にて自立生活に向けての支援を行っており、利用者のやりがいづくりを応援しています。



▲ honoka 店舗



▲ honoka 商品



▲ 定植作業

▲ 除草作業

その他の事業……

・障害者就業・生活支援センター事業

・障害者専門職業紹介事業

・日中一時支援

・相談支援

・共同生活援助事業（グループホーム）

「はあと」「いちご」「きぼう」「みかん」「ともだち」「とまと」「ひかり」「ひびき」「あかほ」「ほのか」

の皆様との交流が深い点が魅力です。地域の方々から温かい応援の声をいただいくと、私自身も嬉しくやりがいを感じます。今後も利用者様一人ひとりの笑顔を大切にした支援に取り組んでいきます。

丹南精明園 障害者がその人らしく生き生きと『生活する場』・『働く場』・『ふれあう場』を提供

〒669-2221 丹波篠山市西古佐 700
TEL 079-594-2298 FAX 079-594-2271
E-mail info_tannan@hwc.or.jp
<https://www.hwc.or.jp/seimeien/>



障害者支援施設

施設入所支援	96名
生活介護	110名
就労継続支援B型	15名
短期入所	4名

丹波篠山の自然に囲まれ、充実した生活をサポート

丹南精明園は、自然豊かな風土と城下町の歴史的町並みが残る「丹波篠山」の北西部に位置しています。利用者は、さまざまなプログラムに参加されたり、「県立高校商店」や「丹波丹（まごころ）ファーム」等で働かれたり、日々充実した生活を送られています。



『生活する場』

●施設入所・生活介護

隣接する県立公園への散策や、歯科衛生士による口腔衛生、また、理学療法士・作業療法士による指導・助言の下、生活リハビリの充実を図ったり、委託作業・農耕に取り組んだりと生活に潤いが持てるよう支援しています。

また、利用者の個々のニーズに対応するため、個別外出や文化教室、お菓子作り、集いカフェなどの活動プログラムをボランティアの協力を得て行っています。



▲集いカフェ

▲農耕作業

『ふれあう場』 イベントを通じて地域交流

●地域交流

園祭や地元の各種イベントに参加し、交流を図っています。園祭では、地元のみなさんや中学生、高校生等とふれあい、またイベントには利用者と職員で構成する「よさこいサークル舞丹」が出演し、活動を通じて交流の場を広げています。

よさこいサークル舞丹▶



職員 Voice

管理栄養士 / 西村 美玲

丹南精明園では、利用者様に日々の楽しみを持つていただきため、管理栄養士としてさまざまな支援を行っています。絵や写真を使った食育媒体を作成・掲示したり、隔月に調理実習を行うなど、食を楽し

んでいただけるように工夫しています。何を食べた、何がおいしかったなど、楽しそうに話してくださる利用者様の笑顔が絶えないよう、これからもよりよい食事サービスをめざしていきます。



三木精愛園 「共生社会」をめざす三木精愛園

〒673-0534 三木市緑が丘町本町 2 丁目 3
TEL 0794-85-8791 FAX 0794-85-5420
E-mail info_miki@hwc.or.jp
<https://www.hwc.or.jp/seiaien/>



障害者支援施設

施設入所支援	74名
生活介護	95名
短期入所	4名

地域に密着したユニット型施設

三木精愛園は住宅街の一角にありますが、緑豊かな環境の中で、夏祭り等の地域交流事業を推進しています。

また、全室個室のユニット型新棟では、プライバシーに配慮された快適な生活空間を提供しています。



カレーハウス「moimoi」の運営

障害者の働く場づくりを目的として、園敷地内でカレーハウス「moimoi」を運営しています。季節の野菜やフルーツをたっぷり使った健康的なカレーは地域の皆様の好評を得ています。



▲moimoi

日課活動の充実

日課活動として、講師による音楽療法とバランスポール教室があります。また、委託作業や創作活動に日々取り組んでいます。



▲音楽療法

外出支援・地域交流活動への参加

買い物、外食、ドライブ、あるいはスポーツ大会への参加等、利用者の希望に沿った外出を積極的に実施しています。



▲ボルトの穴あけ

その他の事業

- ・日中一時支援
- ・特定相談支援
- ・短期入所
- ・共同生活援助事業（グループホーム）
「にじ」「だいち」「ハッピー」「そら」「ゆめ」「ホープ」
- ・「ひまわりの家」「えんどう豆の家」「ピーナッツの家」「ココナツの家」「うぐいす豆の家」



職員 Voice

支援員 / 今中 綾音

三木精愛園は知的障害者支援施設として、生活介護事業、地域生活支援事業、グループホームなど多岐にわたり事業を行っています。カレーハウス「moimoi」や地域交流室の開放を通して、地域の皆

様との交流も盛んな施設です。現在、コロナ禍においては、集団での行事開催は難しい状況ですが、密を避けて実施するなど、工夫しながら利用者様に楽しみのある生活を提供しています。

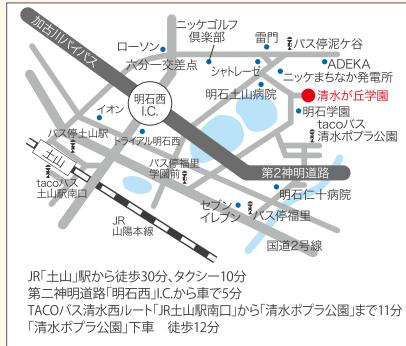
清水が丘学園

子どもたちが憩い 心の安らぎ 遊ぶ楽しさ
学ぶ仲間を見つける 開拓する力の広場

〒674-0074 明石市魚住町清水 2744

TEL 078-943-0501 FAX 078-943-6598

<https://www.hwc.or.jp/shimizugaoka/>



子どもの心理治療を行う施設

~新たな役割と機能の充実をめざして~

全国的にも数少ない子どもの心理治療施設で、明石市西部の緑豊かな自然の中にはあります。学園は、児童精神医学、心理臨床、児童福祉、教育の各専門スタッフが連携し、悩みを抱え、行き詰まったり、追い詰められた子どもや家族等への総合的な支援を図っています。援助の方法として、入所・通所・外来相談があります。

児童心理治療施設

入所 50名 通所 20名

外来・電話相談

外来・電話相談窓口を設け、心理治療士が不登校、いじめ等による悩みや不安を持つ子どもや家族への相談を行っています。

また、子どもの相談担当者と家族の相談担当者を決め、並行したカウンセリングやセラピーを行っています。子どもが来園しにくい場合には、家族のみの相談も行っています。



人材育成

県下の大手と連携し、年間を通して公認心理師や臨床心理士をめざす大学・大学院生の心理臨床研修や、社会福祉士をめざす大学生の実習受入を積極的に行ってています。

講師派遣等

学校や教育委員会、児童養護施設等からの要請により、講演会への講師派遣やケースカンファレンスの助言者として、心理治療士等を派遣しています。

学園祭・お楽しみ会等各種行事

学園祭を開催し、ステージ発表や模擬店を通じて地域の方と交流します。また、野球やバレー、iPad、園芸活動などさまざまな活動や就労体験学習を実施し、幅広い支援を行っています。



▲フレイームルーム

▲社会体験学習

▲そうめん流し

家族療法

学園に来られているひきこもりや不登校の子どもとその家族に、宿泊や面接等を通じて心の援助を行っています。また、被虐待児童の家族再生に力を入れています。



家族療法棟▶

児童心理臨床セミナー

精神科医師や大学の教授等を招いての講義や、小中高校教員、施設職員等による事例研究を行い、問題解決の方途を検討するとともに、参加者の研修を行っています。

セミナー▶



職員 Voice

心理治療士 / 中岡 真帆

清水が丘学園では、複雑な事情を抱えた子どもたちに各専門スタッフが連携しながら総合的な援助をおこなっています。私は心理治療士として、面接や心理検査を通して子どもを理解し、気持ちに寄り添



いながら心のケアにあたっています。ひとつとして同じケースがなく、難しさを感じることも多いですが、子どもたち一人ひとりの成長を感じられるやりがいのある職場です。

こども発達支援センター

ひとりひとりの発達に寄り添う支援
~ともに遊ぼう 考えよう みんなの笑顔のために~

〒674-0074 明石市魚住町清水 2744

TEL 078-949-0902 FAX 078-943-3830

<https://www.hwc.or.jp/kodomohattatsu/>

アクセスは43ページをご覧ください



地域と連携 早期支援につながる早期診断

発達障害を早期に診断し、早期支援につなぐために、小児科医と児童精神科医による診療体制と心理アセスメント、作業療法、言語療法、保育による療育機能を有し、診断・診療・療育を一体的に提供し支援します。センターでの診療の他、研修・出張や派遣による支援、地域の保健・医療・福祉・教育など関係機関と連携して二つに応じた細やかな支援ができるように努めます。

出張発達健康相談

当センターの専門職が要望のある市町に向きます。市町の保健師や保育士等の市町の支援者が同席のうえ発達相談を行います。



▲出張発達健康相談

診療と療育

乳幼児からおむね15歳までを対象とし、診療・検査・投薬・リハビリテーションを実施します。遊びや療育の場での行動観察に基づき医師が総合的に診断を行い、子どもの特性に基づいた支援方法を家族とともに考え、継続的な支援につながるように地域の支援者と連携します。令和2年度からは新たに、医療機関からの直接のお申し込みも受け付けています。



▲言語療法



▲作業療法

研修

子どもが成長発達する過程で携わる保健師や保育士、支援の過程で携わる専門職の心理士、言語聴覚士、作業療法士等を対象に、支援者のスキルアップを目的とした研修を実施します。講義形式の研修では、発達に関わるさまざまなテーマでの講演を行い、実地研修では当センターの療育を見学後、療法士とともに関わり方を考えます。令和2年度は感染予防対策を実施しながら「読み書きに苦手さのある子どもの支援」、「検査や評価から見える子どもの姿～結果を支援に活かすために～」、「低年齢の子どもの、身体を使った関わり遊び」をテーマに講演を行い、約50名の方にご参加いただきました。



教育連携

県立特別支援教育センター、県や市町の教育委員会等の教育機関と連携します。幼・小・中・大・中特別支援学校の教諭を対象に発達障害に関する研修や、情報交流を行い、互いの理解を深めます。



▲県立特別支援学校初任者研修会

情報提供等

発達障害にかかる医療機関・研修会・各市町の支援体制等の情報収集、情報の一元管理、情報提供を行います。また、保健師や保育士等、各市町の支援者への相談・助言・家族支援を行います。



職員 Voice

看護師 / 仙波 由香

こども発達支援センターでは、各スタッフが専門性を活かし、子ども、保護者、地域の支援者など、それぞれの想いに寄り添いながら、子どもたちの発達をサポートしています。

子どもたちのキラキラ輝く笑顔がたくさん見られるように、スタッフ一同、お子さんの力強いスターとなるべく、頑張っています。

● 高齢福祉サービス等 ●

特別養護老人ホーム (指定介護老人福祉施設)

老人福祉法第5条の3、同法第20条の5及び介護保険法第8条の24、同法第86条に基づく施設で、要介護状態にある65歳以上（特定疾患の場合は40歳以上）の者であって、身体上又は精神上著しい障害があるために常時介護を必要とし、かつ、居宅において介護を受けることが困難な利用者に対し、施設サービス計画に基づいて、入浴・排泄・食事等の介護その他の日常生活上の世話・機能訓練・健康管理及び療養上の世話を行います。

養護老人ホーム

老人福祉法第5条の3、第20条の4に基づく施設で、環境上の理由及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な者に対し養護とともに、その者が自立した日常生活を営み、社会活動に参加するために必要な指導及び訓練その他の日常生活上の世話を行います。

短期入所生活介護 (ショートステイ)

在宅の要介護高齢者等に特別養護老人ホーム等に短期入所してもらい、入浴・排泄・食事等の介護その他日常生活上の世話と機能訓練を行います。

居宅介護支援

介護支援専門員（ケアマネジャー）が、地域の要介護高齢者等からの相談に応じ、居宅介護サービス計画を作成し、その計画に基づいた適切な介護サービスが提供できるよう、事業者等との連絡調整や便宜の提供を行います。

地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 (デイサービス)

在宅の要介護高齢者等にデイサービスセンターに通ってきてもら（送迎）、入浴、食事の提供とその介護、生活等についての相談・助言、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を提供し、利用者の心身機能の維持とともに、社会的孤立感の解消や家族の身体的・精神的負担を軽減します。

訪問介護 (ホームヘルプサービス)

介護福祉士等の訪問介護員が、利用者の自宅を訪問し、入浴・排泄・食事等の介護、調理・洗濯・掃除等の家事、生活等に関する相談・助言等の必要な日常生活上の世話を行います。

訪問看護

利用者が要介護状態となった場合においても、可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、保健師・看護師が利用者の自宅を訪問してその療養生活を支援し、心身の機能の維持回復をめざすことを目的とします。

認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)

介護が必要な認知症の高齢者が少人数で職員と共に共同で家事などをを行い、ゆったりとした暮らしを提供します。

特定施設入居者生活介護

介護保険法第8条の11に基づくサービスで、養護老人ホーム等に入居している要介護者が有する能力に応じ、自立した日常生活を営むができるよう、入浴・排泄・食事等の介護、その他の日常生活上の世話、機能訓練及び療養上の世話を行います。

定期巡回・随時対応型 訪問介護看護

利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、定期的な巡回や随時通報への対応など、利用者の心身の状況に応じて、24時間365日必要なサービスを必要なタイミングで柔軟に提供します。訪問介護員や看護師などの連携による介護と看護の一体化的なサービスを受けることができます。

万寿の家 ~先進の介護ロボット、福祉機器及び技術を実証・発信~

〒651-1133 神戸市北区鳴子3丁目1-18

TEL 078-595-7010 FAX 078-595-7720

E-mail info_manjyu@hwc.or.jp

https://www.manjunoie.com

ひょうごノーリフィングケアモデル施設



県内最初の特別養護老人ホーム

兵庫県で最初の特別養護老人ホームとして開設された万寿の家は、2020年10月に神戸市北区に移転し、新たな歩みを進めています。

県下特養の“トップランナー”として、ロボット機器の導入及びこれに伴う介護技術を先導・発信するとともに、地域のみなさまに楽しくご利用いただける“集いの場”的創出をめざしています。

特別養護老人ホーム

介護老人福祉施設 入所 100名
短期入所生活介護 空床利用

“集いの場”的創出

利用者の個別機能訓練と地域の方々のフレイル予防を目的としたトレーニング室、カフェをはじめ、介護実習をはじめとした研修室、ミニシアター、遊歩道などを併設し、誰もが集える場を提供しています。



▲トレーニング室

▲カフェ

個別ケアの推進

アセスメントに基づいた自立支援と「持ち上げない介護」をめざしています。



▲個別ケアの推進

▲行事

外国人技能実習制度の推進

ベトナムから技能実習生を迎えて1年あまり、技能実習試験、日本語能力試験の合格など、一生懸命に励んできたことが着実に結果に結びついています。

今年は、いよいよ夜勤業務を行うなど、新たなチャレンジも待っていますが、引き続き彼女たちの「夢」を支援していきます。



▲ベトナム人実習生

その他の事業

- ・介護予防短期入所生活介護
- ・障害者短期入所



職員 Voice

支援員 / 角田 雄大

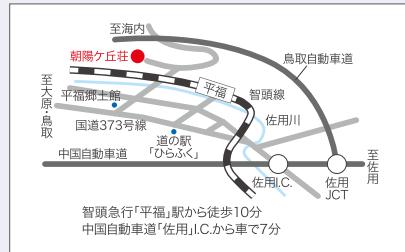
万寿の家は、ユニット型施設で利用者様一人ずつに居室があるため利用者様と相談しながら室内を彩っています。また、ユニットリーダーとして施設運営に携わり、利用者様の個性を尊重した生活づく

りにやりがいを持って支援しています。更に、ノーリフィングケアも定期的に練習会を開催し、みんなで技術習得に励んでいます。

朝陽ヶ丘荘

認知症のことなら
朝陽ヶ丘荘へ

〒679-5331 佐用郡佐用町平福 138-1
TEL 0790-83-2008 FAX 0790-83-2035
E-mail info_asahi@hwc.or.jp
<https://www.hwc.or.jp/asahigaoka/>



特別養護老人ホーム

介護老人福祉施設 入所 110名
※令和3年度中にユニット型40名、従来型60名に整備予定
短期期入所生活介護 10名
認知症対応型通所介護 12名

ノーリフティングケア～利用者を守る 職員を守る～

利用者の状態に合わせて福祉用具などを検討・活用し、安全・安心なケアが受けられるよう、また職員が腰痛を引き起こすような間違った身体の使い方をなくすように努めています。その推進のため施設内に推進チームを発足し、福祉用具の導入、また安全にケアを行えるように隨時研修に取り組んでいます。

利用者の生活環境の改善とともに、職員にとっても安心して働くことができる、利用者・職員双方に優しいケアの実践をめざします。



その人しさを応援したい

朝陽ヶ丘荘では、利用者や家族の希望を伺い「夢を叶えるプロジェクト」として、季節を感じる外出や行事を行っています。畑で取れた野菜を収穫する等、生きがいをもって潤いのある生活を送っていただけるよう取り組んでいます。



▲おやつ作り

▲施設内買い物

可能性を見出し、拓げる

利用者個々の健康維持、楽しみづくり、生きがいづくりとして、さまざまなサービスを提供しています。

特に西播磨総合リハビリテーションセンターとの連携のもと、理学療法、作業療法、言語聴覚療法、音楽療法、園芸療法を行い、身体機能維持を図るとともに、地元公立高校との交流も楽しみの一つとなっています。



ファッショショナー▶

地域に密着したサービスの提供

地域唯一の認知症対応型通所介護事業や定期巡回・随時対応型訪問介護事業を行い、支援が必要になっても住み慣れた地域の中で暮らし続けられるようにサポートしています。



▲認知症対応型通所介護

▲ラウンド・ケア・サービスあさひ
(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)

地域に密着したサービス機能を充実させることをめざすとともに、「認知症カフェ」の開催運営や、佐用町と連携して認知症ポーター養成講座の開催、認知症啓発活動のRUN伴へ参加する等、施設が持つ機能や人材を活用し、広く地域へ貢献しています。

その他の事業

- ・居宅介護支援
- ・介護予防支援
- ・介護予防短期入所生活介護
- ・障害者短期入所
- ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護

▲おやつ作り



職員 Voice

支援員 / 藤東 宏彰

朝陽ヶ丘荘では、利用者様と一緒に中庭で育てた野菜を使って、季節に合ったお菓子を作り季節感を味わうなど、利用者様が少しでも楽しみを持って生活していただけるように支援しています。また、令

和元年度より「ノーリフティングケア（持ち上げない介護）」の取組を行っており、毎朝5分程度ストレッチや体重移動などの基本動作確認を全員で行っています。「脱！腰痛！」

たじま荘

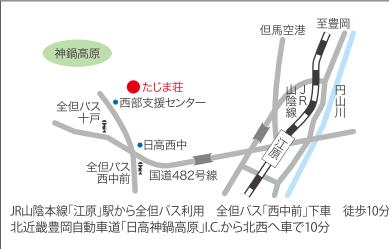
あなたの「自分らしい生き方」を全室個室ユニットと
きめ細やかなケアで実現するたじま荘

〒669-5365 豊岡市日高町十戸 455

TEL 0796-44-1730 FAX 0796-43-4333

E-mail info_tajima@hwc.or.jp
<https://www.hwc.or.jp/tajima/>

ひょうごノーリフティングケアモデル施設



特別養護老人ホーム

介護老人福祉施設 入所 110名
短期期入所生活介護 10名
認知症対応型通所介護 10名



顔が見える、寄り添う介護、共に暮らす施設づくり

兵庫県北部、神鍋高原の裾野に位置し、豊かな自然に囲まれ、移りゆく四季を感じながらやすらぎと潤いのある生活を送っていただいている。

また、居室には使い慣れた家具や思い出の写真などを持ち込んでいただき、家庭的なぬくもりのある生活空間を作り出しています。

ノーリフティングケアの推進・定着

利用者がケアする職員も、安全に快適なケアが実施され、お互いに健康的な生活が保障されている状態をめざします。令和2年4月「ひょうごノーリフティングケアモデル施設」に認定されました。推進チームを設置して、定期的な勉強会の実施、スライディングシートやリフト等の福祉用具の活用、介護場面でのケアの見直し、そして設備や環境面の改善にも取り組んでいます。今までの働き方を変えて、腰痛予防に取り組んでいます。

今年度は但馬園域でのノーリフティングケアの普及・推進を図ります。



みんなで楽しく 穏やかに

利用者・家族の意向に沿って、希望外出や楽しみのある生活を送っていただけるように取り組んでいます。

また、看取り介護を充実させ、最期までその人らしく、尊厳のある生活を送っていただけるように支援しています。



▲ニジマスすくい



▲浴衣コンテスト

地域との絆を大切に

地域との交流が困難な中、施設運営協議会を通じてさまざまな方から意見をいただきました。また、例年より少ない回数ではありますが、「にじいろカフェ」(認知症カフェ)や「家族介護事業・介護教室」の開催、「まるごカフェ」の営業に取り組んでいます。



▲まるごガーデン

その他の事業

- ・介護予防短期入所生活介護
- ・介護予防認知症対応型通所介護
- ・支え合い通所介護
- ・豊岡市家族介護支援
- ・障害者短期入所

ト理調を行うなど、明るく笑顔の絶えない施設です。

また、ノーリフティングケアや福祉用具の活用を推進して、職員の腰痛予防だけでなく、利用者様にとって安全・安心なケアに取り組んでいます。



職員 Voice

支援員 / 岡森 琴巳

たじま荘では利用者様の笑顔を大切にし、生きがいを持って過ごしていただけるよう支援しています。「まるごガーデン」内の散策や季節に合わせた行事と食事、施設内で育てた野菜等を使ったユニー

ことぶき苑

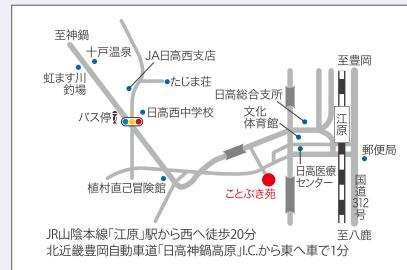
地域にねぎら
地域にはばたく

〒669-5305 豊岡市日高町赤布1304
TEL 0796-42-0430 FAX 0796-42-0517
E-mail info_kotobuki@hwc.or.jp
<https://www.hwc.or.jp/tajima/kotobuki/shisetsu.html>



要介護から就労まで幅広い支援

ことぶき苑は、兵庫県北部の緑豊かな自然に囲まれた豊岡市日高町に位置し、要介護者の支援から自立者の就労支援まで幅広い支援を行っています。また、居宅介護支援、訪問介護、認知症対応型通所介護（通称「かんらん舎」）等を展開し、地域の皆様が安心して老後を迎えることができるよう、地域福祉の向上をめざしています。



施設案内

養護老人ホーム 入所	48名
短期入所生活介護	2名
認知症対応型通所介護	12名

元気に楽しく仲睦まじく・

●養護老人ホーム

自立高齢者から要介護者まで幅広い支援を行っています。要介護状態となった場合でも、外部サービス利用型特定施設入居者生活介護のサービスを提供し、自立した日常生活を営むことができるように支援します。

書道クラブ▶

自宅での生活を支えて・

●居宅介護支援

介護が必要になっても、住み慣れた自宅で安心して生活ができるように、介護支援専門員（ケアマネジャー）が、利用者・家族の意向を伺い、必要なサービスを調整して、在宅での生活をサポートします。さらに地域サポート施設として県から認定を受け、支援員が独り暮らしの高齢者の見守り等を行っています。

▲居宅 職員

笑顔で安定した生活を・

●定期巡回・随時対応型訪問介護看護、訪問介護

「ラウンド・ケア・サービスことぶき」は、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所として但馬地方で初めてのサービスを実施しています。

高齢者の方が住み慣れた我が家で、一日でも長く安心して過ごしていただけるよう介護と看護が一体となり環境を整備するために職員一同、日々奮闘中です。

●職員 Voice

支援員 / 水島 ゆかり



当施設の『定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業』では、一人暮らしの高齢者、高齢者夫婦のみの世帯等さまざまな事情に応じた対応ができるよう、訪問看護事業所と連携し訪問サービスを提供しています。

ています。利用者様により近いところから寄り添うことで「その人しさを支える介護」「本人の持っている力を生かす介護」をめざしチームで取り組んでいます。

あわじ荘

利用者や地域から信頼され、
選ばれる施設づくりをめざします

〒656-1727 淡路市野島貴船 229-1

TEL 0799-82-1950 FAX 0799-82-1754
E-mail info_awaji@hwc.or.jp
<https://www.hwc.or.jp/awaji/>



大切にしたいふるさと淡路！

淡路島の北部に位置するあわじ荘は、播磨灘の水平線を見下ろす雄大な自然の中になります。「自由」「やすらぎ」「ふれあい」～あなたしさを応援します～を運営理念に、いつまでも住み慣れた大好きな淡路で暮らし続けることができるよう、介護予防事業から尊厳を重視した施設でのターミナルケアまで、幅広いサービスを展開しながら地域福祉の向上を推進します。



特別養護老人ホーム

介護老人福祉施設 入所	110名
短期入所生活介護	10名
認知症対応型通所介護	12名

シルバーサポートのじま

〒656-1721 淡路市野島薹浦 681-2

TEL 0799-80-2700 FAX 0799-80-2702

居宅介護支援
地域密着型通所介護 18名

～地域で元気に暮らす～を応援

●シルバーサポートのじま

<居宅介護支援事業所>

介護支援専門員（ケアマネジャー）が、介護保険に関する相談や質問に応じます。安心して地域で暮らすことができるよう、必要なサービス調整を行います。



地域の方が気軽に立ち寄って集まる居場所として「ぶらっとカフェ」を定期的に開催しています。認知症の方や地域の方が何でも話し合える学びの場所でもあり、専門職による介護や健康に関する相談を通して、「地域で支えあい自分らしく生きる」仕組みづくりを推進しています。

△リハビリティスマイル

デイサービスでは各種リハビリ機器を取り揃えています。「体力づくりをサポートします」を目的にマシントレーニングを実践し、住み慣れた在宅生活の継続を支援しています。



また、入浴支援など生活支援を主体としたサービスの提供や生きがいづくりを目的とした趣味や特技をいかした活動を通じて、その人らしい日常生活をお手伝いします。



△予防に向けた訓練

▲訪問の様子

▲ぶらっとカフェ

△他の事業

- ・介護予防認知症対応型通所介護
- ・介護予防支援
- ・介護予防短期入所

～の運営理念のもと、利用者様一人ひとりに真摯に向かい合い、笑顔のたえない、その人らしい生活が送れるよう多職種連携のもと職員一丸となり利用者本位の支援にあたっています。

●職員 Voice

支援員 / 清田 勇司



海と山に囲まれ、週末には次々と新設される観光施設目的に訪れる人で賑わい、魅力と人々の活気に満ちあふれる淡路島に建つあわじ荘では、「自由」「やすらぎ」「ふれあい」～あなたしさを応援します

丹寿荘

地域貢献・地域交流を通して
丹波圏域の高齢者福祉をリードする総合福祉施設

〒 669-4341 丹波市市島町上竹田 2336-1
TEL 0795-85-3251 FAX 0795-85-0075
E-mail tanjuso@eagle.ocn.ne.jp
<https://www.hwc.or.jp/tanju/>

ひょうごノーリフィングケアモデル施設



介護予防からターミナルまで

~地域に開かれ、地域とともに歩む施設~

丹寿荘は、兵庫県の中央東端、京都府に接し、丹波市の自然豊かな風土と里山に囲まれた静かな環境の中に入ります。丹寿荘では、利用者本位で質の高いサービス提供や当施設が持つ高齢者支援に関するノウハウを地域に発信するなど、地域に愛され、地域に開かれた施設運営を行っています。



特別養護老人ホーム

介護老人福祉施設 入所 90名
短期入所生活介護 10名
地域密着型通所介護 18名

一人ひとりの個性を尊重し、潤いと生きがいのある暮らしの提供.....

●特別養護老人ホーム

全室個室のユニット型施設として、利用者一人ひとりの主体性や生活のリズムを尊重し、家庭的な雰囲気の中での生活を提供しています。

また、外出や安全・安心で快適な入浴、食事ケア、口腔ケア等の個別ケアを実践するともに、ユニット毎に趣向を凝らした取組を行っています。



▲お鍋の日

「ノーリフィングケアの推進・定着」.....

定期的な勉強会の実施、スライディングシートやリフト等の福祉用具の活用、介護場面でのケアの見直し、そして設備や環境面の改善に取り組んでいます。



健やかで自立した在宅生活への支援.....

●デイサービスセンター

利用者の好みに合わせて、広いデイルームで行うレクリエーション（ボッチャ、ビンボーリング、おだまバチンコなど）や手工芸、音楽療法など笑顔の溢れる空間をめざしています。



▲ごぼう体操も人気です♪

職員 Voice

支援員 / 兼平 陽生



丹寿荘では、利用者様に寄り添い、少しでもより良い生活をしていただけるよう取り組んでいます。
それぞれの職種が得意とするスキルを活かし、常にチームプレーを意識しています。一人ではできないこともお互い

いに声掛け合って二人で、二人でもできることは三人で、と助け合っています。困難なことというのは、唐突に、不意にやってくるものですが、チームプレーで乗り越える、助け合えることができる丹寿荘の仲間を誇りに思います。



くにうみの里

地域に愛され、
信頼される施設づくりをめざします

〒 656-0013 洲本市下加茂 1 丁目 6-6

TEL 0799-22-3344 FAX 0799-22-1188

E-mail info_kuniuminosato@hwc.or.jp

<https://www.hwc.or.jp/kunumi/>

facebook

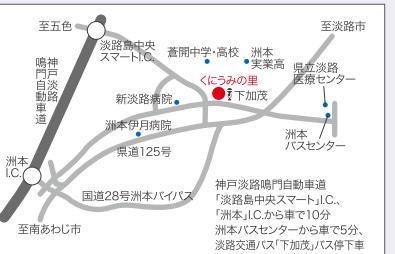
<https://www.facebook.com/kuniuminosato/>

ひょうごノーリフィングケアモデル施設



つながろう 人と 地域と くにうみの里

旧県立淡路病院跡地という立地条件を活かし、「コミュニティデザイン」の手法を取り入れ、地域交流や地域貢献を積極的にすすめ、地域に開かれた施設づくりを行っています。また、誰にでも快適に利用していただける配慮を心掛け、「ひょうご県民ユニバーサル施設（県民参加型特定施設）」の認定を受けています。



特別養護老人ホーム

介護老人福祉施設 入所 90名
短期入所生活介護 10名
認知症対応型共同生活介護 12名
居宅介護支援

豊かな生活を.....

●特別養護老人ホーム ●短期入所生活介護

利用者・職員ともに負担が少ない安全・安心なケアが提供できるよう「持ち上げない」「抱え上げない」等のノーリフィングケアに取り組んでいます。平成 30 年度には、ひょうごノーリフィングケアモデル施設の認定を受けました。（ノーリフィング宣言施設）

もう一つの特色として、「利用者の日々の生活や暮らし」が豊かになれば、「地域の人々とのつながりがより深まれば」『「ここは施設ですか？」というマイナスの言葉を発しない』そのような思いで 3 月 5 日施設を開放し、建物 1 階地域交流スペース、2 階語らい広場を中心に「音楽会」「美術館」「寺子屋」「ワークショップ」等の地域交流の活動を行っています。



笑顔で過ごすひとときを一緒に！.....

●認知症対応型通所介護 デイサービスくにうみ

デイサービスくにうみでは、「住み慣れた地域や自宅でいつまでも暮らしたい」という利用者のこの想いを大切にしています。感染症予防対策をしっかり講じながら、利用者お一人おひとりのご意向に沿った活動を個別に提供しています。また“一日一笑”を合言葉に笑顔で過ごす時間を作っています。



▲ピアノ練習

“あったかい”気持ちで暮らしをサポート.....

●居宅介護支援 あったかプランくにうみ

住み慣れた地域や自宅で、安心して暮らし続けられるように、介護を必要とする方や家族からのご相談を承ります。お体の状態や暮らしの中で困っていること等、お話を伺い、介護保険サービス等を利用できるように、関係機関との連絡や調整をします。

あわせて、利用者の在宅生活がより身体に優しく負担が少なくなるようノーリフィングケアの提案を行っています。

その他の事業.....

- ・介護予防支援
- ・介護予防短期入所
- ・介護予防認知症対応型通所介護



職員 Voice

支援員 / 原 拓磨

大学卒業後、くにうみの里に勤めて一年が経とうとしています。初めて介護の仕事に就き、ノーリフィングケアを学び始めました。リフトやボード等の用具を使用することで利用者様とコミュニケーションを図り表情を見ながら介護ができます。利用

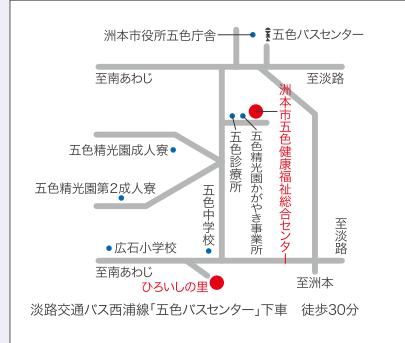
者様だけでなく職員にとっても、身体的に負担が少ない介護技術です。

これから更にくにうみの里のノーリフィングケアの定着に貢献していきたいです。

洲本市五色健康福祉総合センター

相談から支援まで地域を結ぶ高齢者福祉サービス拠点

〒656-1331 洲本市五色町都志大日 707
TEL 0799-33-0503 FAX 0799-33-0318
E-mail go_sumoto@hwc.or.jp
<https://www.hwc.or.jp/sumoto/>



つながる“きずな”広がる“笑顔”あなたしさのお手伝い
瀬戸内海を見渡せる海と緑に囲まれた自然豊かな環境にあります。平成21年4月から、洲本市からの指定管理を受け、「つながる“きずな”広がる“笑顔”あなたしさのお手伝い」をセンター理念として運営を行っています。

五色デイサービスセンター

認知症対応型通所介護 12名

五色介護支援センター

居宅介護支援

五色グループホーム

認知症対応型共同生活介護 9名

生活支援ハウス

認知症対応型共同生活介護 1名

特別養護老人ホーム 五色・サルビアホール

介護老人福祉施設 入所 60名

地域密着型

介護老人福祉施設入居者生活介護 20名

短期入所生活介護 10名

五色ホームヘルバーステーション

訪問介護

ラウンド・ケア・サービス五色

定期巡回・随時対応型訪問介護看護

笑顔が広がる支援をめざして.....

●五色・サルビアホール

地域とのつながりを大切に、個別支援の実践を推進しています。希望の外出や特性を活かした活動などを通じて、楽しみながらその人らしさが蘇る支援をめざしています。



▲趣味のクラリネット

▲花壇の花植え

▲花苗の水やり

「ノーリフティングケアの推進・定着」.....

定期的な勉強会の実施、スライディングシートやリフト等の福祉用具の活用、介護場面でのケアの見直し、そして設備や環境面の改善に取り組んでいます。



楽しみのひとときをともに.....

●五色デイサービスセンター

地域の友人や懐かしい仲間と趣味の活動などを通じて、楽しみのひとときを提供しています。また、一人ひとりの身体機能に合わせたリハビリや入浴支援で、心身のリフレッシュができるよう、その人に合ったサービスを提供しています。



▲風船パレ

住み慣れた地域で自分らしい生活を.....

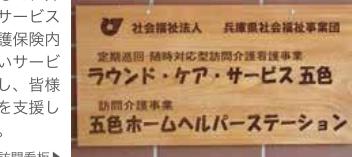
●ラウンド・ケア・サービス五色

●五色ホームヘルバーステーション

住み慣れた自宅で安心した生活が送られるよう、淡路島では初となる定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業である『ラウンド・ケア・サービス 五色』を令和3年1月にオープンしました。自宅にいながら施設にいるような安心感のあるサービスを心掛け、いつまでも住み慣れた地域で暮らせる支援を提供いたします。

また、訪問介護事業では高齢者だけでなく障害のある方のニーズに応え、介護保険外サービスでは、介護保険内でできないサービスを提供し、皆様の暮らしを支援しています。

定期巡回・訪問看板▶



生きがいのある生活.....

●五色グループホーム

五色健康道場に隣接する1ユニット9名の家庭的な生活環境で、認知症になども役割や生き甲斐のある生活を応援します。



▲芋の苗付け



▲ボイスカウトとの交流

地域で暮らす.....

●五色介護支援センター（居宅介護支援）

要介護・要支援の認定を受けられた方に、適切なサービスが提供されるよう、介護支援専門員（ケアマネジャー）が保健・医療・福祉等の関係機関との調整を図りながら、ケアプランを作成します。



仕事風景▶

たくさんの笑顔と安心できる暮らしをめざして.....

●グループホームひろいしの里

住み慣れたこの町でお互いを尊重し「なじみの関係」をつくり、家族や地域とのつながりを大切にしながら支援を行っています。

家庭的で落ちていた雰囲気の中で今までの経験を生かし、毎日の食事づくりや買い物、掃除、野菜の栽培などをを行っています。



▲生け花



▲焼きいも大会

その他の事業.....

・介護予防短期入所生活介護

・介護予防支援

・介護予防認知症対応型共同生活介護

・介護予防・日常生活支援総合事業（訪問型サービス）

・障害者居宅介護

・介護予防認知症対応型通所介護

・短期利用共同生活介護

●職員 Voice ● 支援員 / 出嶋 理絵



洲本市五色健康福祉総合センターは、海・山に囲まれた自然豊かな施設です。旬の素材を生かした地域ならではの食事を提供するなど、慣れ親しんだ土地で豊かな生活支援を心掛けています。

現在のコロナ禍でもご家族とのつながりを感じて

いただけるよう「オンライン面会」を実施しています。また、利用者様・職員双方に安全で安心なケアを目指し、「ノーリフティングケア」を日々取り組んでいます。

立雲の郷 健康づくり・介護予防を先導する立雲の郷

〒669-5252 朝来市和田山町竹田 2063-3
TEL 079-674-0088 FAX 079-674-0089
E-mail info_ritsuun@hwc.or.jp
<https://www.hwc.or.jp/ritsuunnosato/>



専門職員の指導による気軽で楽しい健康づくり.....

●厚生労働大臣認定 健康増進施設 とらふす道場

朝来市内で唯一、体育指導員を配置した運動施設であり、個々のニーズに応じた運動方法やプログラムを提供しています。また、朝来市との連携により介護予防教室や特定保健指導（メタボリックシンドローム予防等）のための各種運動教室を開催しています。

施設の概要

- 主な施設 トレーニング室、スタジオ、研修室、和室
- 休館日 日曜日、12/29～1/3
- 利用時間 平日 10:00～21:00
土曜・祝日10:00～18:00



▲運動教室（スタジオ）

24時間対応で利用者の安心を支えます.....

●訪問看護ステーションなでしこ

<訪問看護>

在宅で生活する医療処置が必要な高齢者等に対し、看護師が自宅を訪問し、健康管理や傷の処置などを行います。

また、日常生活上の介護方法の指導や相談、そして何より24時間対応により、利用者と家族の安心を支えています。

<訪問リハビリ>

住み慣れた家で、元気に自分らしく過ごせるよう、理学療法士が自宅を訪問し、リハビリを実施しています。



▲訪問看護の様子



▲リハビリの様子

●職員 Voice ● 体育指導員 / 山本 貴代

立雲の郷は、とらふす道場、グループホーム、デイサービス、訪問看護、居宅介護支援という地域に密着した事業を展開している施設です。とらふす道場では、地域住民の健康づくり・介護予防に力を入れ、健康教室やスタジオプログラムだけではなく、利用される方のニーズに合わせたメニューの提案を行い、一人ひとりの健康づくりをサポートしていきます。



気持ちに寄り添う支援.....

●デイサービスあすなろ

認知症の方が、住み慣れた家で家族とともに暮らし続けるよう支援しています。その人らしさを大切にしたプログラムを実施するとともに、認知症の改善・進行予防をめざして、脳リハ練習帳を使用した訓練を取り入れています。また、とらふす道場を利用した転倒予防のための体操を行っています。



▲タオル体操

住み慣れたまちで自分らしく暮らそう.....

●グループホームたけだ遊友館

家族との絆を大切にし、持てる力を活かして、その人らしい生活ができるよう支援しています。

また、空いている部屋を利用して短期間入居のご利用が可能です。



▲施設 外観



▲地域交流 竹田秋祭り

その他の事業.....

- 介護予防認知症対応型通所介護
- 介護予防認知症対応型共同生活介護
- 短期利用共同生活介護
- 介護予防訪問看護

、健康教室やスタジオプログラムだけではなく、利用される方のニーズに合わせたメニューの提案を行い、一人ひとりの健康づくりをサポートしていきます。

浜坂温泉保養荘 くつろぎの宿

〒669-6702 美方郡新温泉町浜坂 775
TEL 0796-82-3645 FAX 0796-82-3647
E-mail info_hamasaka@hwc.or.jp
<https://www.hamasaka-ni.com/>



▲facebook



▲施設外観写真 ▲介助浴室

障害者更生センター 宿泊定員 80名（和室14室、洋室2室、和洋室7室）

施設案内 チェックイン：午後3時 チェックアウト：午前10時
駐車場：無料（30台）

施設設備 研修室（2室）・トレーニング室・カラオケルーム・サウナ室・食堂・喫茶コーナー・売店

温泉 泉質：ナトリウム・カルシウム・塩化物泉
効能：リウマチ性疾患・運動器障害・創傷・慢性疾患など

アメニティ 浴衣・陣羽織・バスタオル・フェイスタオル・歯ブラシ
※浴室にシャンプー・リンス・ボディソープ・石鹼がございます。

バリアフリー対応「すべての人」にやさしい宿

障害者やその家族をはじめ、誰もが気軽に宿泊・休憩できる施設です。館内にはスロープや手すりが整備され、車椅子のまま入室できる部屋やリフター付きの介助浴室等があり、障害者のみならず高齢者にもやさしいバリアフリー設計になっています。卓球等スポーツのできるトレーニング棟や自炊ができる台所付きの長期滞在棟4室（湯治の宿「小春日」）もあります。



真のくつろぎを 浜坂温泉.....

国民温泉保養地に指定されている「浜坂温泉」にある当荘の温泉は、源泉地から配湯されており湯量が豊富です。浴用の適応症は、リウマチ性疾患・運動器障害・創傷・慢性疾患などに効能がある自慢の温泉です。また、世界ジオパークネットワークに認定された山陰海岸ジオパーク内に位置しており、雄大な大自然の中で心身ともに癒し、リフレッシュしていただけます。

その他の事業.....

- 要援護者・介護者の集い（機能訓練事業）
- 感謝デー



▲姿ガニ ▲長期滞在棟

●職員 Voice ● 主事 / 岡田 正彦

浜坂温泉保養荘のある新温泉町は、その名の通り温泉「浜坂温泉・七釜（しちかま）温泉・湯村温泉」の町です。浜坂温泉は、町内の一般家庭に天然温泉を配湯している全国でも数少ない温泉で、七釜温泉は100%源泉かけ流し温泉、湯村温泉は日本一の源

泉温度98度を誇る温泉です。どの温泉も美肌・神経痛・リウマチ等に効果あります！是非とも浜坂温泉保養荘をご利用の際には、泉質の異なる町内の温泉巡りを計画していかがでしょうか？

兵庫県社会福祉事業団は 「ノーリフティングケア」に取り組んでいます！

◇持ち上げない介護「ノーリフティングケア」の推進

当法人では、利用者への高齢・重度化に対応し、さらなる支援の充実を図ることを目的に、「ノーリフティングケア」の充実・強化を推進しています。

◇ノーリフティングケアとは

利用者の身体を人の手で持ち上げたり、抱え上げたり、ベッド上で引きずって移動しない介助方法です。車椅子やベッドから移乗する際に、リフトなどの福祉機器を適切に使うことにより、介護する側・される側の双方の負担が軽くなるメリットがあります。

利用者への質の高い介護サービス提供が可能となり、また、介護職員の腰痛予防や介護負担軽減、やりがいやモチベーションアップにもつながっています。

◇当法人における取り組みのご紹介

当法人が運営している特別養護老人ホームすべての施設を対象とした取り組みで、福祉のまちづくり研究所が主催する「持ち上げない介護推進プロジェクト」に参加し、「ひょうごノーリフティングケアモデル施設」の認定をめざしています。また、法人事務局が主催するフォローアップ研修を受講することで取り組みの振り返りも行っています。

各施設に専門講師を派遣することにより、職員はノーリフティングケアに関する介護技術について、座学や演習を通じて体系的に学んでいます。

令和3年度には、法人内のすべての特別養護老人ホームでノーリフティングケアモデル施設として、「ノーリフティング宣言」を行うことを目標に、日々、研鑽を積んでいます。

また、特別養護老人ホームのみでなく、障害者支援施設においてもノーリフティングケアを導入することにより、高齢・重度化が進んでいる利用者への対応を図ることとしています。

